

**甲南大学  
甲南大学大学院**

ホームページ <http://www.konan-u.ac.jp>

◎**岡本キャンパス**

〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1  
TEL (078) 431-4341 (大代表)

◎**西宮キャンパス**

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町8-33  
TEL (0798) 63-5741

◎**ポートアイランドキャンパス**

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町7-1-20  
TEL (078) 303-1457

**甲南高等学校・中学校**

〒659-0096 兵庫県芦屋市山手町31-3  
TEL (0797) 31-0551 (代表)  
ホームページ <http://www.konan.ed.jp>

**甲南大学ネットワークキャンパス東京**

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12  
サピアタワー10F

TEL (03) 6266-9520

ホームページ <http://www.konan-u.ac.jp/tokyo/>

**ウェブサイトによる  
「教育情報」の公開について**

本学では、平成23年4月1日に施行された「学校教育法施行規則等の一部を改正する省令」に伴い、ウェブサイトにて積極的に「教育情報」を公開しています。甲南大学ホームページの「公開情報」をご覧ください。

発行 令和2年7月

この冊子に関するお問い合わせは、  
以下までお願いいたします。

〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1

学校法人甲南学園 総務部総務課

TEL (078) 431-4341 (代)

FAX (078) 435-2548

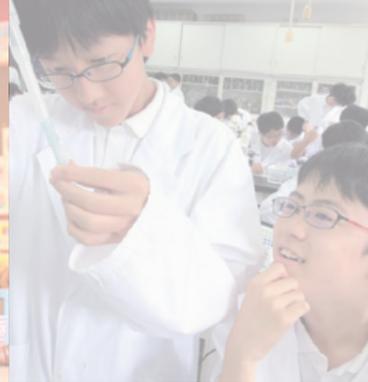
e-mail [sohmu@adm.konan-u.ac.jp](mailto:sohmu@adm.konan-u.ac.jp)

# KONAN

## 令和元年度 事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで





学校法人甲南学園  
理事長 **長坂 悦敬**

甲南大学、甲南高等学校・中学校を設置する甲南学園は、大正8(1919)年の旧制甲南中学校の開校にさかのぼります。甲南を支える大きな精神的支柱である創立者の平生鈞三郎は、

**本校ハ学校教育ノ現状ニ満足セザル有志ノ者共ガ集マツテ、知育偏重ノ弊ヲ避ケ、「人格ノ修養」「健康ノ増進」ヲ第一義トシ、「個性ヲ尊重シテ天賦ノ特性ヲ啓発スベク、知的教育ヲ施サン」トノ主旨ヲ以テ創立イタシマシタ**

高等学校第1回卒業式／大正15(1926)年

と述べています。

本学園は、今後も、この気概と品格ある建学の精神をもとに、教育・研究の質を高め、本学園の社会的使命を達成することを目指しています。

## 甲南学園のあゆみ

個性尊重の理念を掲げて開学。  
100年間にわたり、「人物教育」を徹底的に志向しつづけています。



創立者 **平生 鈞三郎**

平生鈞三郎は、慶応2(1866)年武門に生まれ、東京海上火災保険をはじめとする損害保険業界の近代化に貢献、川崎造船所を再建するなど実業界で広く活躍しました。甲南病院の設立など社会事業にも深く関わり、政治においては、広田内閣の文部大臣として義務教育の年限延長、師範教育の改善を強く提唱しました。教育理念として、「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重し、各人の天賦の特性を伸張させる」を掲げ、甲南中学校、さらに7年制の甲南高等学校を創立しました。

- 大正 7(1918) 財団法人甲南学園 私立甲南中学校設立認可
- 大正 8(1919) 私立甲南中学校開校
- 大正12(1923) 7年制甲南高等学校開校
- 昭和23(1948) 新制甲南高等学校に移行
- 昭和26(1951) 甲南大学設置認可、甲南大学開学、文理学部設置
- 昭和27(1952) 経済学部増設
- 昭和32(1957) 文理学部を文理学部と理学部に分離
- 昭和35(1960) 法学部・経営学部増設
- 昭和38(1963) 甲南高等学校・中学校が岡本から芦屋市に移転
- 昭和39(1964) 大学院人文科学研究科、自然科学研究科設置
- 昭和40(1965) 大学院社会科学研究科増設
- 平成 3(1991) トゥレーヌ甲南学園(フランス甲南学園トゥレーヌに校名変更) 高等部・中等部を開校
- 平成13(2001) 理学部を理工学部に変更
- 平成14(2002) 経済学部・経営学部EBA総合コースを開設(平成25年廃止)
- 平成15(2003) 先端生命工学研究所(FIBER)設置
- 平成16(2004) 大学院法学研究科(法科大学院)増設
- 平成18(2006) 大学院ビジネス研究科(会計大学院)増設(平成25年会計専門職専攻として社会科学研究科のもとへ移設、平成28年廃止)
- 平成20(2008) 知能情報学部増設
- 平成21(2009) マネジメント創造学部増設(西宮キャンパス新設) 先端生命工学研究所移設・フロンティアサイエンス学部・同研究科増設(ポートアイランドキャンパス新設)
- フランス甲南学園トゥレーヌ中等部閉校
- 平成25(2013) フランス甲南学園トゥレーヌ高等部閉校

## 甲南学園の構成

設置する学校・研究科等(令和2年3月31日現在)

甲南大学・大学院			
学部 学科	文学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本語日本文学科</li> <li>■ 英語英米文学科</li> <li>■ 社会学科</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人間科学科</li> <li>■ 歴史文化学科</li> </ul>
	理工学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 物理学科</li> <li>■ 生物学科</li> </ul>	■ 機能分子化学科
	経済学部	■ 経済学科	
	法学部	■ 法学科	
	経営学部	■ 経営学科	
大学院	知能情報学部	■ 知能情報学科	
	マネジメント創造学部	■ マネジメント創造学科	
	フロンティアサイエンス学部	■ 生命化学科	
	人文科学研究科	修士課程 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本語日本文学専攻</li> <li>■ 英語英米文学専攻</li> <li>■ 応用社会学専攻</li> <li>■ 人間科学専攻</li> </ul>	博士後期課程 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本語日本文学専攻</li> <li>■ 英語英米文学専攻</li> <li>■ 応用社会学専攻</li> <li>■ 人間科学専攻</li> </ul>
	自然科学研究科	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 物理学専攻</li> <li>■ 化学専攻</li> <li>■ 生物学専攻</li> <li>■ 知能情報学専攻</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 物理学専攻</li> <li>■ 生命・機能科学専攻</li> <li>■ 知能情報学専攻</li> </ul>
専門職 大学院	社会科学研究科	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 経済学専攻</li> <li>■ 経営学専攻</li> </ul>	■ 経営学専攻
	フロンティアサイエンス研究科	■ 生命化学専攻	■ 生命化学専攻
センター 研究所 図書館	法学研究科	■ 法務専攻(法科大学院)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国際言語文化センター</li> <li>■ スポーツ・健康科学教育研究センター</li> <li>■ キャリアセンター</li> <li>■ 図書館</li> <li>■ アドミッションセンター</li> <li>■ 共通教育センター</li> <li>■ 教育学習支援センター</li> <li>■ 国際交流センター</li> <li>■ 教職教育センター</li> <li>■ 地域連携センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公認心理師養成センター</li> <li>■ 総合研究所</li> <li>■ 人間科学研究所</li> <li>■ 先端生命工学研究所</li> <li>■ フロンティア研究推進機構</li> <li>■ ビジネス・イノベーション研究所</li> <li>■ カウンセリングセンター</li> <li>■ 学生相談室</li> <li>■ 心理臨床カウンセリングルーム</li> </ul>
甲南高等学校・中学校			

## はじめに

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本学園の令和元年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

科学技術、情報デジタル技術の目覚ましい発展で日常生活、社会生活が著しく変化し、ヒト・モノ・カネ・情報の流通が国際的に密に素早くなる一方、国々の壁も、民族・文化の多様性、環境問題も免れがたく存在しています。新型コロナウイルス感染症の広がりがどのような推移を辿るのか不透明で、社会・経済・政治への影響もはかりがたい中、令和2年度を迎えました。

本学園はこの100年、常に時代感覚を研ぎ、人格の修養・健康の増進・個性尊重の知的啓発教育からなる人物教育率先の理念を掲げ、実践してまいりました。このような明るく前向きに対応できる力を発揮しうる人物を輩出する本学園の教育は、今後ますますその価値を高めていくことと考えます。

甲南学園が第2世紀目を歩みだし、学園創立100周年記念事業も整備・完了し、その運用・活用が活況を呈する今、本年度を初年度とする中期計画の課題を実現すべく、力強く教育・研究活動を推進してまいります。皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

## CONTENTS

学校法人甲南学園／令和元年度事業報告書

### はじめに ..... 1

- 甲南学園のあゆみ
- 甲南学園の構成

### Highlight 2019

- 01 甲南学園創立100周年記念事業・行事の推進 ..... 3
- 02 新型コロナウイルス感染症拡大への対応 ..... 4
- 03 甲南大学の教育改革 ..... 5
- 04 高等学校・中学校 ..... 6
- 05 戦略事業の展開 ..... 6

### I 事業の概要

- 大学・大学院 ..... 7
- 高等学校・中学校 ..... 11
- 法人 ..... 12

### II 財務の概要 ..... 13

- 令和元年度決算の概要
- 資金収支決算の概要
- 資金収支計算書(学園総括)
- 活動区分資金収支計算書(学園総括)
- 繰越支払資金の流れ
- 事業活動収支決算の概要
- 事業活動収支決算書・構成比率(学園総括)
- 事業活動収支(旧：消費収支)決算の推移(学園総括)

- 平成29年度～令和元年度決算の推移
- 主な施設・設備の整備状況(学園全体)
- 貸借対照表
- 財務状況の推移(学園総括)
- 財務比率の推移(学園総括)

### III 法人の概要 ..... 21

- 名称
- 法人設立の年月日
- 設置学校
- 役員
- 土地と建物

### 大学・大学院・高等学校・中学校基本データ

- 学位授与
- 留学者数
- 入学試験状況
- 大学(学部学生)の就職状況
- 学生・生徒数
- 卒業生累計数
- 専任教職員数
- 事務組織図



## 01 甲南学園創立100周年記念事業・行事の推進

### ■ 学園創立100周年記念式典・祝賀会の実施

甲南学園が創立100周年を迎えた平成31年4月21日（日）、神戸ポートピアホテルのポートピアホールにおいて「学園創立100周年記念式典」を開催しました。記念式典は、卒業生である能楽囃子方大倉流小鼓方十六世宗家で重要無形文化財保持者（人間国宝）の大倉源次郎氏らによる能「石橋」で開幕。吉沢英成理事長が式辞において創立者平生鈺三郎の掲げた人物教育に挑み続ける決意を述べた後、白間竜一郎文部科学省高等教育局私学部長、井戸敏三兵庫県知事、内藤政武学習院院長から祝辞をいただきました。最後に平生鈺三郎と甲南学園の歴史を振り返る記念映像が上映された後、来場者全員による甲南学園歌の斉唱によって締めくくられました。

引き続き神戸ポートピアホテルの大輪田の間において記念祝賀会を開催しました。卒業生のジャズトランペッター黒田卓也氏らによるオープニングセッションで華やかに開幕し、長坂悦敬学長の正志く強く朗らかに進んでいきたいとの挨拶の後、久元喜造神戸市長の祝辞、片山勉副理事長と小林豊募金委員長による乾杯へと続きます。この日の参加者は約1,400名。会場には卒業生ゆかりの酒造メーカー11社の試飲ブースも並び、地域の魅力も満喫できる祝賀会となりました。最後に山内守明校長による建学の理念を守りながら新しい教育を作っていきたいとの力強い挨拶と、会場全体での甲南高等学校校歌斉唱によって幕を閉じました。



### ■ 学園創立100周年記念音楽祭の実施

4月10日（水）兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホールにて「学園創立100周年記念音楽祭」を開催しました。指揮者の佐渡裕氏と兵庫芸術文化センター管弦楽団、甲南高等学校・中学校プラスアンサンブル部のほか、ピアニスト・作曲家の妹尾武氏やジャズトランペッターの広瀬未来氏ら多くの卒業生音楽家らが出演。貴志康一作品のほかクラシック、ジャズ、ポップスなど幅広い曲が演奏され、1,500名近い来場者全員による甲南学園歌斉唱によって感動的に締めくくられました。



### ■ 学園創立100周年記念 冊子・記念グッズの製作

甲南学園100年の歩みと現在、そして将来への決意が込められた冊子『甲南学園100年のあゆみ』、学生や卒業生、地域、甲南大学生協の魅力をゆるやかな自然体でとらえた雑誌『Meets KONAN』、記念式典・祝賀会の記念品「岡本キャンパス1号館 ペーパーウェイト」のほか、「甲南大学公式キャラクター“なんぼーくん”ぬいぐるみ」「ネックストラップ」「カレンダー」「記念フラッグ」「100周年記念提灯」「甲南学園歌・甲南高等学校校歌CD」「甲南学園オリジナル腕時計」など、学園創立100周年を記念した多くの記念グッズや冊子を作成しました。また、甲南大学生協においても、スマートフォンケースや充電器、名刺ケースのほか、経営学部の西村順二ゼミとのコラボレーションによる平生鈺三郎にちなんだレトルト食品『牛ノスキ焼』など様々な100周年を記念した製品が販売されました。



記念冊子  
『甲南学園100年のあゆみ』

雑誌『Meets KONAN!』

### ■ 「甲南学園創立100周年記念平生国際シンポジウム」シリーズ

令和元年度に続き、「甲南学園創立100周年記念平生国際科学シンポジウム」シリーズとして、8月28日から30日まで、シリーズ③「First International Conference on Labyrinthine Protists」を、2月10日から12日まで、シリーズ④「Gravitational wave physics and astronomy: Genesis」をそれぞれ開催しました。シリーズ③では、ラビリンチュラ類の系統分類ならびに生態的役割の研究、シリーズ④では重力波研究に関して、それぞれ国内外の研究者による講演が行われるとともに、研究者と学生・大学院生との間で活発な議論が交わされるなど、大変有意義な国際シンポジウムとなりました。



### ■ 募金の状況

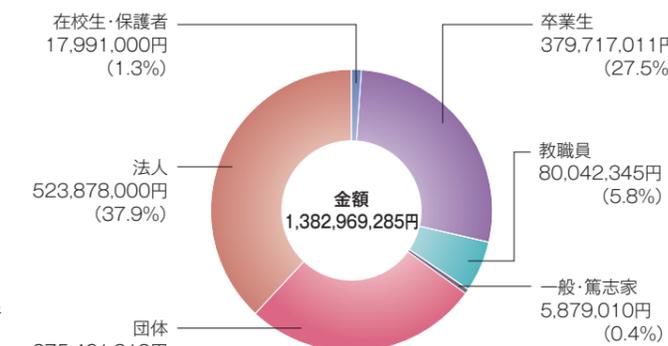
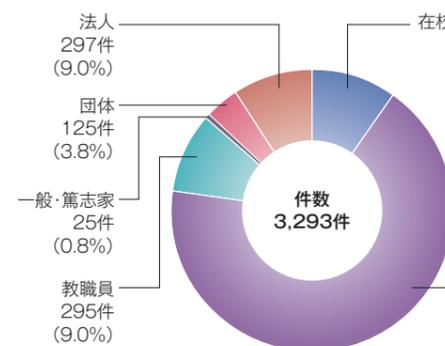
- 事業規模 100億円
- 募金目標額 20億円
- 募金期間 平成27年10月1日～令和2年9月30日（5年間）

### ■ 100周年記念事業募金申込状況（令和2年3月31日現在）

平成27年10月から開始した学園創立100周年記念事業募金（令和2年9月30日まで）も4年6か月が経過しました。卒業生、保護者をはじめ、同窓会、法人・団体の皆様から、令和元年度末までに約13億8千万円のご芳志を賜っています。

令和元年度末には、100周年募金事業の一つである「100周年記念“わがぐるま 星につなぐ”甲南の星 奨学金給付事業」を開始しました。

	件数（累計：件）	件数比率	金額（累計：円）	金額比率
在校生・保護者	329	10.0%	17,991,000	1.3%
卒業生	2,222	67.5%	379,717,011	27.5%
教職員	295	9.0%	80,042,345	5.8%
一般・篤志家	25	0.8%	5,879,010	0.4%
団体	125	3.8%	375,461,919	27.1%
法人	297	9.0%	523,878,000	37.9%
合計	3,293	100.0%	1,382,969,285	100.0%



## 02 新型コロナウイルス感染症拡大への対応

令和2年1月中旬に新型コロナウイルス感染症の日本国内初の感染者が発生した後、甲南学園では状況を注視しながら学生生徒・教職員への注意喚起を行いました。その後の状況変化を受け、2月19日に理事長を中心とする「甲南学園新型感染症対策本部」を設置しました。学生生徒・教職員の安全と健康管理、また感染症拡大防止を最優先に、学内行事やクラブなど課外活動の中止、大学生のキャンパス立入禁止、高等学校・中学校の臨時休校措置、留学の中止などの決定のほか、教職員の出張自粛、学内消毒装置の導入、アルコール・マスクなど備蓄品の手配と管理など、順次実施しました。

3月の大学後期入学試験は厳重な感染症拡大防止策を講じた上で実施したものの、高等学校・中学校の卒業式は中止、大学の学位授与式（卒業式）は各学部などの代表者のみにて実施の上、その様子をリアルタイムにWEB配信したほか、大学・高等学校・中学校のいずれも入学式の中止を決定しました。また大学においては「2020年度新学期授業対策会議」を立ち上げ、4月以降の授業方法について、急ピッチで検討と準備を進めることとなりました。



甲南大学学位授与式

## 03 甲南大学の教育改革

### ■ 教学新機軸の推進

学園創立100周年をむかえ、甲南新世紀元年ともなった令和元年度は、甲南大学のありたき姿として定めた『KONAN U. VISION2020—甲南新世紀ビジョン—』（以下、「新世紀ビジョン」。）の実現を目指し、全学教育改革の推進（全学教育推進機構の設置）などを筆頭に、教学新機軸を中心に据えた様々な取組みを推進しました。

- (1) “顔がわかる”少人数教育の推進
- (2) アクティブ・ラーニング（能動的学習）の推進
- (3) 革新的共通教育の推進
- (4) 融合型グローバル教育の推進
- (5) 地域連携・ボランティア教育の推進

令和元年度の主な活動として、「顔がわかる”少人数教育の推進」では、「KONANサーティファイケイト」の認知度向上とエントリー数の増加を実現するとともに、学修ポートフォリオのシステム化および利用促進を行いました。

「革新的共通教育の推進」では、平成26年から推進してきた全学共通教育改革の最終段階として、①「徳・体・知」の人物教育の基盤を支える一体的な共通教育体制の整備、②教育の質向上のための全学的な取組みの強化、③リカレント教育などの社会的要請への対応などを実現するため、共通教育センター、スポーツ・健康科学教育研究センター、教育学習支援センター、リカレント教育センターからなる「全学教育推進機構」の立ち上げを提案し、令和2年度に設置することを決定しました。

「融合型グローバル教育の推進」では、常設委員会「グローバル教育推進委員会」を新たに立ち上げたことにより、環境整備・教育推進をはかる体制を整備するとともに、ダブルディグリー制度の導入を実現しました。

「地域連携・ボランティア教育の推進」については、平成30年度に引き続き、「関西湾岸SDGsチャレンジ」を実施し、これまでの神戸市・堺市・和歌山市・徳島市に、新たに岡山市を加えた大阪湾を囲む5つの自治体と、各市内の高校生、甲南高校生、本学大学生、教員、朝日新聞社が協働し、自治体の持続可能な問題解決に取り組まれました。

このほかにも、「新世紀ビジョン」の実現に向けた様々な取組みを推進しています。

### ■ Active Interactive キャンパスの整備、魅力化の推進

キャンパス全体の有機的な連携・魅力化や、相互啓発・融合・創発を起こす場を設けるため、KONAN INFINITY COMMONS (iCommons)、白川台キャンパス、グローバルゾーン、Science Active Learning Commons (SaLaCo) などの活性化を進めてきました。特にActive-Interactiveキャンパスの中核施設とも言えるiCommonsにおいては、iStaffと呼ばれる学生・教職員らが中心となって様々な学生活動を全面的に支援し、多様なイベントを実施したほか、白川台キャンパスにおいてもゼミ合宿や高大接続イベント、地域連携活動、クラブ・サークルによる課外活動などを行いました。

### ■ 教育改革の基盤整備

文部科学省「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」にも示された高等教育の質的転換や、「人生100年時代」「超スマート社会（Society5.0）」の到来などに対応することを視野に、「甲南学園100年の歩み」（平成31年4月21日）に示された「人物教育」のパスバクティブに大学教育の側面から応えるべく、「全学教育推進機構」の設置について検討を開始しました。「全学教育推進機構（仮称）検討タスクフォース」において、具体的なプランの検討を重ね、令和2年度からの同機構設置を決定しました。同機構は、共通教育センター、スポーツ・健康科学教育研究センター、教育学習支援センター、および新たに設置するリカレント教育センターを統括し、全学教育を有機的に推進するとともに、教育改革会議などとも連携して、全学的な教育の質向上に取組むこととなります。

### ■ KONAN プレミア・プロジェクト

KONANプレミア・プロジェクトは令和元年度で5期目を迎え、9つのテーマのもと68のサブプロジェクトを展開しました。全学および各学部の特色ある方針・計画を実践・可視化することで、大学全体が組織横断的に融合し、本学の新たな魅力を創出しています。これらの活動により、各学部・センターの学びもより個性が光り、在学生の学びに対する意欲を向上させる一助にもなっています。



関西湾岸SDGsチャレンジ（神戸）



関西湾岸SDGsチャレンジ（和歌山）



「おもしろさの向こう側」生を照らす物語の力（西加奈子氏・エトガル ケレット氏）

## 04 高等学校・中学校

平成31年4月から生徒用のWi-Fi「Konan-net」を敷設、中学1年生全員と高校1年生・2年生のグローバル・スタディ以外の生徒に、個人用端末としてiPadを導入しました。グローバル・スタディの生徒は持ち込み端末を利用することで、ICT教育に取り組んでいます。11月にはICT教育公開授業研究会を主催、約50名の教員・教育関係者が参加し、授業研究・情報交換を行いました。

「フロントランナー・コース」「アドバンスト・コース」が完成年度を迎えました。これまで行ってきた特別授業、難関大学補習などに加えて、一期生の高校3年生のセンター試験受験に向けて、過去間に集中的に取り組むプログラム「センターマラソン」を新たに開始しました。

その他、「姉妹校教育シンポジウム」と題し、甲南の姉妹校であるDulwich College（イギリス）、St Joseph's College Gregory Terrace（オーストラリア）、Christ's College（ニュージーランド）から、各校の校長先生・日本語担当教員を招待し、本校を含め各校の教育理念・教育目標とともに育成したい生徒像と社会に輩出したい人物像についてプレゼンテーションを行い、相互の教育内容を理解するとともに、生徒に国際的な教育の在り方、育成したい人物像について理解を深めさせました。

また、全校生徒を対象に各界の第一線で活躍されている著名人を招聘した「ソフィア講演会」による人物教育を実施しました。6月には、兵庫県災害医療センター顧問・NPO災害人道医療支援会HuMA顧問の鶴岡卓氏より「災害人道支援から見た世界と日本」という演題でご講演いただきました。9月には100周年記念事業として育友会と共催し、本校OBの世界的ジャズトランペット奏者である黒田卓也氏に「『世界に通用する紳士』を目指して!」、野球解説者・野球評論家の桑田真澄氏に「挑戦することの大切さ」というテーマでご講演いただきました。



姉妹校教育シンポジウム



ソフィア講演会

## 05 戦略事業の展開

### ■ 先端生命工学研究所（FIBER）の第Ⅱ期プロジェクト6年目の研究推進

平成26年度に開始した第Ⅱ期プロジェクトでは、「FIBER第Ⅱ期計画」に基づき、文部科学省科学研究費助成事業「新学術領域研究・分子夾雑の生命化学」（平成29年から5年間）に採択された研究を推進しました。また、核酸研究の国際的な研究拠点として、日本学術振興会における「二国間交流事業」（平成30年から2年間）および科学研究費補助金の「国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B）」（平成30年から3年間）に採択された国際共同研究を推進しました。これらの研究課題の遂行により、分子混雑状態の中での核酸の機能の動態を解明し、先制核酸医工学や創薬などに応用・活用できる研究成果を得ました。本年度の研究成果は、国際的に著名な学術雑誌に多く掲載され、国際会議やシンポジウムで研究所の多くの専任教員が招待講演を受けるなど、国内外で高く評価されました。さらに、所長の杉本直己教授が、化学の基礎・応用に関する貴重な研究をなした日本化学会の会員に授与される最高位の賞「日本化学会賞」を受賞しました。また、高橋俊太郎講師が日本化学会第100回春季年会における若い世代の特別講演会講演者に選出されました。研究成果の還元にも積極的に取組み、高校生向け研究体験型実験教室（リサーチカップ）や女性研究者にフォーカスした一般公開講演会、その他幅広い世代を対象にした講演会・実験教室などを多数開催しました。「学術交流拠点としてのKONAN FIBER」の国際的プレゼンスを通じ、「核酸化学はKONAN FIBER」という研究ブランドを確立しつつあります。



国際シンポジウム「ANNA 2019-Advances in Noncanonical Nucleic Acids」



### ■ 法科大学院の第3期プロジェクト6年目の展開

司法試験予備試験が定着し、政府・文部科学省による法科大学院に対する厳しい改革要求や司法試験合格数の縮減（3,000名目標から1,500名へ）など、ロースクールを取り巻く環境が厳しさを増すなか、14回目となる令和元年司法試験で4名が合格。これまでに現役院生ながら予備試験に合格し司法試験にも合格した4名と法科大学院修了資格での合格者136名との総合計は140名となりました。こうした成果は「昼夜開講・秋入学」の実施、ICTを活用した「テレビ会議システム」の導入により岡本教室の夜間授業を西宮キャンパス（CUBE）で受講できる「西宮教室」の設置、有職社会人が継続的に学習できる環境の整備、密度の高い指導体制の構築など、10数年にわたる甲南大学法科大学院独自の法曹養成の成果といえます。

# I 事業の概要

## 大学・大学院

### 1 教育

#### (1) “顔がわかる”少人数教育の推進 【教学新機軸(1)】

大規模授業の少人数化などの授業規模最適化の推進。「学修ポートフォリオ」の活用促進。「KONANサーティフィケート」制度の充実。

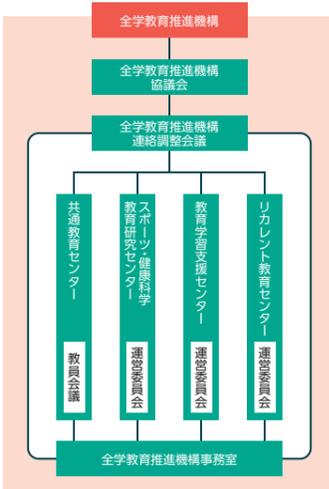
#### (2) アクティブ・ラーニング(能動的学習)の推進 【教学新機軸(2)】

教育の質的向上をはかるため、ラーニング・コモンズにおけるライティング・サポート、学習支援デスクなどのさらなる充実・整備。グループワークにおけるファシリテーション、その他学習支援に関わる学生アシスタントの育成体制の準備などによりアクティブ・ラーニングを特色化。学生同士の学び合いを促進するKONANラーニングサポート・サーティフィケートの新設。

#### (3) 革新的共通教育の推進【教学新機軸(3)】

「徳・体・知」の人物教育の基盤を支える一体的な共通教育体制を整備するために新しい全学教育の機構として「甲南大学全学教育推進機構」の設置に向けて準備。同機構は4つのセンターを統括するだけでなく、教育改革会議などと連携し、全学的な教育の質向上に取り組む。

共通教育センターの教員体制の拡充。基礎共通科目の社会科学系科目、キャリア創生共通科目における政治学・法学系科目、地域連携・ボランティア科目、保健体育科目の内容充実化。



#### (4) 融合型グローバル教育の推進【教学新機軸(4)】

派遣留学においては、前年度比約30%減の275名の学生を海外に送り出し。派遣者数だけでなく、留学前後の学びや将来のキャリアデザインにつながるサポートを加え、質の面も充実化。受入留学は協定校のニーズに対応すべく、インターンシップの提供や英語による授業提供などの検討を開始。新型コロナウイルス感染拡大の影響はあったが、ほぼ前年度並みの146名の学生が来学。グローバルゾーンでは新たに配置した教員を中心に内容の改善を図り、1名の学生がグローバルサーティフィケート1級を獲得。

#### (5) 地域連携・ボランティア教育の推進 【教学新機軸(5)】

地域連携・ボランティアの拠点である「地域連携センター」を中心に、学生による地域連携やボランティアの諸活動を正

課・課外の教育として展開。自治体や企業・団体などの協力のもと、「関西湾岸SDGsチャレンジ」など甲南独自の連携プロジェクトの実施により学生が地域社会で活躍する機会を創出。また課外活動での経験、学びを評価する「KONANボランティア・サーティフィケート」を浸透・定着化。

#### (6) 教員養成体制の充実

専任教員の増員などによる教員組織の拡充・整備を実施。「教育職員養成課程カリキュラム委員会」を中心に、教職課程の運営や教職指導を充実化。教員免許法改定に伴い、平成31年度入学生より新しい教職課程をスタート。

#### (7) 公認心理師養成カリキュラム充実

平成30年4月に新設した公認心理師養成センターにおいて、2年目となる公認心理師養成カリキュラムの安定的な実施と充実を図る。鳴門教育大学・兵庫教育大学との連携協定に基づく公認心理師養成大学院への推薦入学を開始し、学生の進学を支援。新入生への適切な情報提供や「公認心理セミナー」の実施などにより、公認心理師を志望する学生を幅広く支援。

#### (8) FD活動などによる教育力強化と学修支援体制の充実

教員間の授業参観、授業改善のための意見交換会、教育力向上のためのワークショップなどの実施によるFD活動の推進。上級生が下級生の学習を多面的にサポートするTIL (Teaching is Learning) 制度の一層の充実。これらを通じたアクティブ・ラーニングの推進。学修ポートフォリオ、ジェネリックスキル測定、IRレポートの活用促進とシステム構築などによるデータに基づく教育の質的向上への取り組み推進。

#### (9) 大学自己点検・評価の実施

2020年度の第3期認証評価受審に向け、内部質保証活動を改善・向上。前年度に実施した検証結果を踏まえた全学的な提言に基づき、内部質保証の基盤整備や体制などの見直し、方針などに基づく検証活動の徹底と実践、IRシステム「KONAN IR Tool」をはじめとした検証データの充実と利用環境の整備、検証活動の質的向上と均質化、機能別内部質保証委員会の本格的な稼働、外部評価委員会（教学アドバイザー・ボード）による第三者の観点から外部評価を実施。これらを踏まえ、全学的な観点から自己点検・評価報告書を作成し、大学基準協会へ提出。

#### (10) 各種補助金制度への対応強化

私立大学等改革総合支援事業への対応を強化。全学的な体制での教育の質的転換を支援するタイプ1「特色ある教育の展開」(3年連続)、地域におけるプラットフォームを通じた複数大学間や自治体・産業界などとの連携を支援するタイプ3「地域社会への貢献」(3年連続)、産学連携の推進を支援するタイプ4「社会実装の推進」に採択。経常費補助金特別補助においては、本学の事業内容や計画・方針に適合する項目へ申請、各種補助金を獲得。

### 2 研究

#### (1) 学内の各種研究助成による研究支援

「平生太郎基金」「伊藤忠兵衛基金」「甲南学園教育・研究基金」などの運用果実を活用した研究・出版・外国人研究者招へいなどへの助成。

##### ①平生太郎基金科学研究奨励助成

申請者	研究課題	助成金額(千円)
杉本 直己 先端生命工学研究所 教授 (生命分子化学)	核酸の構造及び安定性の制御に基づく新規の脳疾患抑制法の開発	15,000 (期間5年/ 総額75,000)
西村 いくこ 特別客員教授 (植物分子細胞生物学)	バイオテクノロジー研究拠点形成：オルガネラ工学による有用植物の創成	8,000
日下部 岳広 理工学部生物学 教授 (発生生物学)	動物の体はいかにして複雑化してきたか - 細胞分業による器官進化と進化生命工学への応用 -	6,000
後藤 彩子 理工学部生物学 准教授 (細胞生物学・生態学・昆虫学)	女王アリにおける長期間の精子貯蔵メカニズムの解明	2,000
池田 茂 理工学部機能分子化学科 教授 (光触媒・光電気化学)	太陽エネルギー変換効率の飛躍的な向上のための水分解光電極のバルク構造制御	2,500
川内 敬子 フロンティアサイエンス学部 准教授 (分子生物学・基礎医科学)	核内アクチン線維構造の制御による新たながん治療創薬への挑戦	1,500
助成金額合計		35,000

※平生太郎基金科学研究奨励助成：学園創立者平生三郎のご子息、太郎氏のご室である故平生愛子様から遺贈を受けた財産で、科学研究（医学を含む）を奨励することを目的とした基金。平成6年度より開始した本学の研究奨励助成制度。※研究助成期間は原則として平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

##### ②平生記念人文・社会科学研究奨励助成

申請者	研究課題	助成金額(千円)
笹倉 香奈 法学部法学科 教授 刑事訴訟法	児童虐待事件における冤罪防止のための総合的研究	1,000
助成金額合計		1,000

※平生記念人文・社会科学研究奨励助成：平生太郎基金の遺贈者の精神に喚起された甲南学園が、学園の資金で人文・社会科学系分野の研究を奨励する助成制度。※研究助成期間は平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

##### ③伊藤忠兵衛基金出版助成

申請者	著書名	助成金額(千円)
高石 恭子 文学部 教授 (臨床心理学)	自我体験とは何か —私が（私）に出会うということ—	1,200
尾形 真実哉 経営学部 教授 (経営学)	若年就業者の組織適応 —リアリティ・ショックからの成長—	1,200

※昭和51年、第3代・第5代理事長伊藤忠兵衛の遺言により遺贈を受けた財産で、学術研究の出版助成を目的とした基金。その後、昭和57年にその他の特定基金として統合し、甲南学園教育・研究基金となり、同時に国際交流助成制度を整備した。



#### ④国際交流助成

外国人研究者招へいおよび学生の海外派遣事業に9件、合計759,275円を助成。

#### ⑤総合研究所

学術の進歩に寄与することを目的として、昭和59年に設置された総合研究所の下、人文・社会・自然科学の諸分野にわたる総合的な共同研究6件に対し、研究費を助成。

#### (2) 研究支援の強化、コンプライアンスへの対応

各種競争的研究資金の申請から管理・執行までの一元的な支援のため、監督官庁とのシステムの連携機能をもった新システム「科研費プロ」の導入。産官学連携コーディネーターとの連携などによる研究費獲得に向けた積極的な取組みを推進。「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に基づき整備した体制の見直しと改善。コンプライアンス教育、研究倫理教育の実施。

#### (3) 研究力の可視化

フロンティア研究推進機構 (FRONT) のWEBページ「甲南大学の研究力」を充実させるとともに、「研究者総覧データベース」を刷新し、JSTのresearch mapとの自動連動も可能となったことで「研究力」を発信しやすい環境を整備。また学長室主導で発刊した「KONAN研究年報2018」は、学部・研究科のほか本学にあるすべての研究所の成果を次年度以降はFRONTが引継ぎ、研究力の可視化を推進。



#### (4) 知的財産の活用促進、管理体制の構築

平成30年度に策定した「甲南大学知的財産戦略」に基づき、重点分野として定めた生命科学・環境科学・エネルギー科学・情報科学の分野を中心に、知財コーディネーターの指導のもと、新たに権利化された特許6件を含む知的財産の管理体制を整備。

## 3 学生支援活動

#### (1) 学生支援体制の整備・再構築

「YOUステーション」にて修学支援コーディネーターを中心として実施している支援のさらなる充実を目指し、支援体制を整備・再構築。学生ボランティアスタッフの育成にも注力。

#### (2) キャリア形成・就職支援

個々の学生の状況に応じたサポートと質の高い進路支援。「夏休み就活先取体感ツアー in TOKYO」、「業界・企業研究講座 in TOKYO」の改変・充実。多様化する就職試験への対策強化。増加傾向にある公務員志望者への支援充実。地方自治体との就職協定に基づいた連携プログラムの実施。



夏休み就活先取体感ツアー in TOKYO

# I 事業の概要

## (3) 甲南アスリートサポートプログラム(KASP)の実践

体育会に所属する学生に向けた修学・キャリアなどの各種支援プログラムを改良。学業とスポーツを両立させた有意義な学生生活を送れるよう、充実したサポートを実施。

## (4) 奨学金制度の充実

学園創立100周年記念事業の一環として新設した「わがくるま星につなぐ」甲南の星奨学金（入学前予約型給付奨学金）および「甲南100周年記念荣誉特待生」の運用開始。

## (5) 保護者との関係強化

「教育懇談会」において大学概要説明、キャリアセンター講演会、各学部・学科紹介、教員との懇談および個別相談などを実施。（岡本キャンパス・岡山県・東京都・福岡県各1回、参加者合計983名）

### 一父母の会による支援

甲南大学父母の会において、全学生への支援として、TOEFLやTOEICなどの語学検定試験の受験料補助（326件補助）や、各学部の学生を主体とした取組みを支援する「甲南大学父母の会・学部支援」制度（10件採択）などを設置。そのほか、課外活動団体への支援や学生行事への支援など多岐にわたって父母の会から支援を受けている。

## (6) 学生生活の支援

人物教育の一環として、学生とともに学生のマナーアップに取り組む体制を構築。学生を取りまく身近なトラブルの予防に向けた指導を強化。学生の健康保持・増進。KONANスポーツ応援プロジェクト推進などによる課外活動支援。

## 4 社会連携・社会貢献活動

### (1) 地域連携・高大接続の強化

「関西湾岸SDGsチャレンジ」を昨年度までの4市（神戸市、堺市、和歌山市、徳島市）に岡山市を加えて実施。甲南大生と地元高校生がチームを組み、各地域が抱える課題の解決に向けた企画立案を行い、成果発表を行った。またその成果はリサーチフェスタでも発表。参加地域の拡大やプログラムの改善など地域連携・高大接続を強化。

### (2) 自治体・企業などとの連携

各種連携企画をよりいっそう充実・発展。岡山県との連携協定を活かし岡山市が新たに「関西湾岸SDGsチャレンジ」へ参画。

### (3) 大学間連携の強化

「大学コンソーシアムひょうご神戸」の主要メンバーとして、県内大学、兵庫県、地元産業界と設立した「ひょうご産官学連携協議会」を基軸に大学間連携の体制および事業活動を強化。学生交流委員会事業では甲南大学が中心となり「学生災害ボランティア・ネットワーク事業」を実施。

## (4) 産官学連携の推進

産業界・官公庁などとの連携を強化し、本学の研究力や知的資産を積極的に活用。

	件数	金額（千円）
受託研究	25件	92,000
共同研究	16件	22,000
奨学寄附金	18件	9,140
助成金	17件	25,754

## (5) 小学校・中学校・高等学校の児童・生徒などに向けた取組み

「ひらめき☆ときめきサイエンス（独立行政法人日本学術振興会）」「科学とあそび！2019」「一日科学体験」「FIBER未来博士アカデミー リサーチカップ」のほか、子育て支援などの各種事業を実施。



ひらめき☆ときめきサイエンス

## (6) 教員免許更新制における免許状更新講習の実施

現場教員にとって必要かつ有効な免許状更新講習を実施。全14講習をのべ425名が受講。

## (7) 生涯学習支援

公開講座は、春期に「女性のキャリアを考える」、秋期に「人生100年時代を健康で生きる脳科学」をテーマに実施。実習系の講座は夏期にパソコン教室、冬期にバドミントン教室を実施。その他白川台キャンパスおよびネットワークキャンパス東京においても公開講演会を開催するなど、本学の研究成果を地域に還元。



公開講座「女性のキャリアを考える」

## 5 高大接続・学生募集・入学試験にかかる活動

### (1) アドミッションセンターの展開

「フリーキャンパスビジット」のさらなる展開、デジタルサイネージの設置、プレゼンテーションルームの有効活用、図書・資料の充実などにより、受験生などにとっての「大学のエントランス」としての機能を拡充。来訪者とのコミュニケーションを深化。

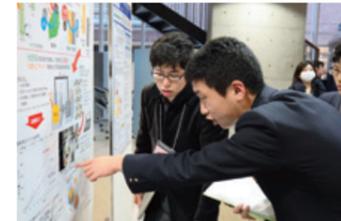
### (2) 学生募集活動の強化

大学案内や受験生向け情報サイト『甲南Ch.』のさらなる充実のほか、iCommons活用などによるオープンキャンパスを始めとする各種イベントの魅力化を実施。さらに岡山県をはじめ中国・四国地方を重点エリアと位置付け、それらの地域における学生募集活動を強化。

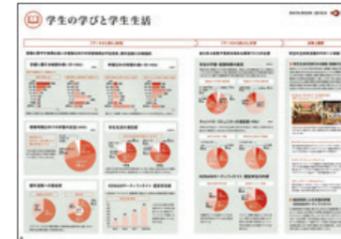


## (3) 高大接続の強化

「リサーチフェスタ」を本学の高大接続活動の中心の一つと位置付け、内容の充実と実施体制の整備・強化。高等学校とのコミュニケーションの深化を目指して『KONAN DATA BOOK』『KONAN DIGEST』の各種コミュニケーションツールの継続活用と改訂を行い、第2期高校訪問活動を開始するとともに、アドミッションアドバイザーによる訪問活動も新たに実施。



リサーチフェスタ



『KONAN DATA BOOK』より

## (4) 指定校・協定校、系列校との連携強化

協定校・指定校などとの関係強化のほか、重点指定校を新たに設置し、本学の志望度の高い志願者層の形成に向けた活動を実施。甲南一貫教育の充実に向け「KONAN DAY」を継続実施。

## (5) 入試制度改革の推進

2021年度の入試制度改革を見据えた入試実施概要を公表。入試実施に向けた取組みを進捗させ、高校訪問、進学相談会、高校内ガイダンスなどにおいて周知・広報活動を積極的に実施。

## 6 環境整備

### (1) 教育環境・情報インフラの整備

アクティブ・ラーニングの充実に向け、1号館講義室へ無線LANを導入。学術ネットワーク回線「SINET」の帯域を1GBから10GBへ増速し、インターネット利用環境改善を実施。

### (2) 安心安全・快適なキャンパスづくり

1号館142講義室および10号館南館1階、2階講義室（4室）の家具を更新するとともに床の貼り替えを実施。老朽化した10、13、14、17号館の空調設備を更新し、快適な教育環境を提供。また、天井落下防止対策として、六甲アイランド体育館内にあるトレーニングルームの天井改修工事を実施するとともに、快適なトレーニング環境を提供するため、床改修工事を実施。



1号館142講義室

歩行者用スロープを設置。

## 7 課外活動

### (1) 各種助成金の支給

スポーツ強化支援「強化指定団体制度」に基づく、強化指定団体（11団体）を対象とした「重点強化助成」の助成額を査定、交付。その他体育会クラブを対象とした「活性化助成」「振興助成」による指導者招聘のための助成金を交付。

### (2) 各種イベントの実施

体育会、文化会における各種キャンプの実施支援。指導者・学生を対象とした課外活動安全講習会の実施。スポーツ応援ツアーの実施。

### (3) 主な活動成果(金甲賞 受賞クラブ)

※金甲賞は甲南大学父母の会創立40周年を記念し、学生の課外活動を活性化することを目的として平成6年に設けられた表彰制度。

### 体育会弓道部

第31回 全国大学弓道選抜大会  
団体（女子）優勝  
全日本学生弓道選手権大会  
団体（男子）第3位



### 体育会少林寺拳法部

第53回少林寺拳法全日本学生大会  
立合評価法男子軽量級の部

優勝

### 体育会女子陸上競技部

天皇賜盃第88回日本学生陸上競技対抗選手権大会  
女子4×100mR 第3位  
第103回日本陸上競技選手権大会  
リレー競技大会  
女子4×100mR 第4位



### 体育会馬術部

全日本学生賞典障害飛越競技（個人）

準優勝

### 体育会フィギュアスケート部(個人)

第91回日本学生氷上競技選手権大会  
第29回ユニバーシアード冬季競技大会（ユニバ2019）

優勝  
優勝

# I 事業の概要

## 高等学校・中学校

### 1 教育

- ・学園創立100周年を迎えるにあたり、式辞、校長講話などを通じて、学園の歴史、建学の理念を理解させるとともに、新たな世紀への学校の教育方針を生徒および保護者に伝達。
- ・学園創立100周年記念行事として海外姉妹校を招聘。「姉妹校教育シンポジウム」を実施。
- ・フロントランナー・コース生を対象とした中学2～3年生の「サイエンスラボ」「グローバルラボ」、高校2年生の「ハイレベルサイエンスラボ」の実施。
- ・高校1～3年生のアドバンスト・コース生を対象に「志厚き人類社会国家有用の材幹を養成」を体現する「キャリアデザイン」教育を実施し、OB企業訪問や有識者による講演を実施。
- ・各界の第一線で活躍されている著名人を招聘した講演会「ソフィア講演会」による人物教育の実施。
- ・中学3年生を対象に社会で活躍されている卒業生を招聘した「OBワークショップ」の実施。
- ・「KONAN DAY」など、甲南大学との連携強化。
- ・環境学習の実施による、甲南小学校・甲南女子中高・甲南大学との連携強化。

### 2 学習活動・学校生活支援活動(進路支援活動含む)

- ・教育支援システム「Classi」による学習サポート・進路指導などを強化。
- ・ネイティブ教員が中心となってプログラムする「English Day」の実施。
- ・デジタル教科書の利用、授業のICT化、アクティブ・ラーニングの推進。

### 3 生徒募集・入学試験にかかる活動

- ・学校案内冊子のリニューアル、教育情報誌の活用や各種広告の掲載などにより、本学の魅力を校内外に伝える様々な取組みを実施。
- ・入試説明会、学校訪問による生徒募集活動の強化。

### 4 進路状況

各コースの特性を活かし、一人ひとりの適性や個性に応じて自己の進路を確立。内部推薦で約4割が甲南大学へ進学。他の約6割は国立大学、首都圏・関西などの医歯薬系も含めた私立大学に加え、海外の大学へ進学(留学準備者含む)。

### 5 国際交流活動

- ・「グローバル・スタディ・プログラム」の一環としての高校2年生の海外留学実施。
- ・高校2年生フロントランナー・コース生を対象としたNASAサイエンスツアーの実施。
- ・「グローバル・ファウンデーション」の一環としての中学3年生対象「スプリングセミナー」および希望者によるオーストラリア語学研修の実施。
- ・ベトナムへのスタディツアー実施。

### 6 環境整備

- ・グラウンドの改修工事(雨水対策)。
- ・雷レーダー設置、ブロック塀の改修などの安心安全のための施設・設備の整備、省エネルギー対策としてLED化。
- ・教室(特別教室・音楽室・生物実験室)のAV機器整備。

### 7 課外活動

#### 主な活動成果

##### <高等学校>

- アーチェリー部：近畿私立大会 個人2位 3位  
全国高等学校総合体育大会 団体3位・個人4位  
世界ユース選手権大会個人出場
- テニス部：全国選抜大会出場  
近畿選抜 団体Ⅱ部 準優勝  
近畿私立大会 団体 準優勝 全国私立大会出場
- バスケットボール部：国体近畿ブロック大会3位  
本国体出場
- 弓道部：国体候補選手選出  
近畿選抜大会団体3位  
全国高等学校弓道選抜大会 男子団体の部  
ベスト16、個人6位
- ゴルフ部：関西選手権大会 個人10位 全国大会出場  
兵庫県アマチュア選手権(国体出場選手選考)1位  
国体出場
- 将棋部：高校竜王戦A級優勝 全国高校竜王戦出場  
全国総合文化祭 団体 優勝  
兵庫県総合文化祭 個人戦A級 優勝  
全国新人戦出場  
近畿高等学校総合文化祭 準優勝
- ブラスアンサンブル部：ジャパンスチューデントジャズフェスティバル3位  
国際ジャズオーケストラ・フェスティバル ノミネート3入賞
- 書道部：高野山競書大会 高野山管長賞 高野山総長賞  
ボランティア委員会：阪神南青少年本部長賞



##### <中学校>

- テニス部：全国選抜大会 団体ベスト8  
近畿私立大会 団体準優勝 全国私学大会出場
- バスケットボール部：近畿オールスター大会3位・都道府県対抗ジュニア大会出場(個人)  
国体近畿大会3位・本国体出場(個人)
- ゴルフ部：関西選手権大会個人7位 全国大会出場  
関西対抗戦 優勝 全国大会出場  
関西決勝大会個人7位 全国春季大会出場
- ブラスアンサンブル部：ジャパンスチューデントジャズフェスティバル2位  
国際ジャズオーケストラ・フェスティバル ベストリズムアワード  
ベストソロイスト賞(大会最優秀ソリスト)受賞

## 法人

### 1 管理運営

#### (1) 中期計画の策定

2020年度を開始年度とする5カ年の中期計画「甲南学園中期計画(2020～2024)」を策定。建学の精神・学園方針と、それらに紐づくビジョンならびに大学・高中・法人のそれぞれのアクションプランを整備。



#### (2) 学園の資金計画などの策定

学園創立100周年記念事業にかかる資金管理および次の100年を見据えた中長期的な資金計画の策定と管理体制の確立。

#### (3) 学園創立100周年記念事業募金活動

4月21日に創立100周年を迎え、学園創立100周年記念事業募金のより一層の募金活動を展開。令和元年度は約1億5千万円のご芳志を拝受。

#### (4) 教育振興のための各種寄付金の受入れ強化

高等学校・中学校保護者および卒業生を対象とした「教育振興募金」に4,732万円、大学の体育会指定クラブを受入対象とした「スポーツ教育力強化支援寄付金」に521万円のご芳志を拝受。

#### (5) リスク管理、労務・法務管理体制の強化

私立学校法の改正を受け「学校法人甲南学園寄附行為」「学校法人甲南学園寄附行為施行細則」を大幅に変更したほか「甲南学園役員及び評議員の報酬等に関する規程」を制定・公開。学校法人の運営において監事の役割の重要性が一段と増している現状に鑑み「甲南学園監事監査規程」を制定。

#### (6) 安定的な職員組織の構築、適正な人件費配分、快適な職場環境の維持・強化

職員として学校法人で働く魅力を効果的に伝えるため、採用説明会と懇談会を複数回実施し、採用にかかるホームページをリニューアルし、専任職員8名(新卒4名、既卒4名)を採用。専任教職員を対象とした「ハラスメント研修」を実施。教学の改革を支えるべく体制を構築するため、「全学教育推進機構」の設置など、教学組織の改組、効率的な人員配置などを推進。「働き方改革関連法」に基づき、新勤怠管理システムを本格稼働。

#### (7) 安心・安全なキャンパスづくりの推進

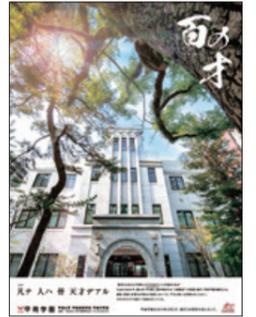
大阪北部地震を受けたブロック塀の再整備にかかる3年計画の2年目として、岡本キャンパス8号館北側および第2駐車場南側、中高テニスコートにおいて、ブロック塀などをフェンスに再整備。

### 2 広報活動・卒業生との連携

#### (1) 学園創立100周年記念事業の広報

各種記念事業・行事の積極的な広報活動による学内外の祝賀ムードの醸成。学園の良き伝統と品格の高さを顕現させる有力紙掲載シリーズを継続。学園創立100周年を迎えた4月

21日には「百の才・凡テ人ハ皆天才デアル」と題した記念広告を各紙に出稿し、掲載紙は創立100周年記念式典・祝賀会にて配布。本広告は「2019年度神戸新聞広告賞」広告主部門で「銅賞」を受賞。



4月21日新聞広告

#### (2) 広報活動の充実・ブランド強化

甲南学園の現状を伝える広報誌『KONAN TODAY』を年2回発行。冊子媒体に加えホームページ上でもデータを公開し、学内外に情報発信。



#### (3) 青少年の育成支援・地域社会への貢献を目的としたスポーツ・芸術活動への協賛

地域貢献や青少年の育成を目的として、兵庫県立芸術文化センター、堺プレイザーズ、西宮ストークスをはじめとする地域性の高い諸団体への支援を継続実施。西宮ストークスのスポンサー契約の一環として、開幕戦と第19節の公式戦で、甲南中学校と高等学校のバスケットボール部がそれぞれエキシビジョンゲームを開催。



#### (4) 卒業生との連携強化

広報誌『KONAN TODAY』の充実・発行、「オール甲南の集い」の共催、入学宣誓式への卒業生招待、同窓会との各種行事の共同開催、各地甲南会などとの関係強化。

##### ・入学宣誓式に卒業生を招待

学園創立100周年記念事業の一環として、4月1日の甲南大学入学宣誓式に大学12～13期生(S41～S42卒業)を招待。75名が参列し、甲南大学69期生となる新入生を祝福。入学宣誓式後は、甲南大学同窓会主催による昼食会を開催。



##### ・オール甲南の集い

10月27日に「オール甲南の集い」を甲南大学同窓会と共催で開催。卒業生でピアニスト・作曲家の妹尾武氏らによるコンサートや現役学生の課外活動成果発表・模擬裁判・交流会などの各種イベントを実施し、1,300名以上の卒業生が参加。



# II 財務の概要

## 令和元年度決算の概要

本冊子冒頭にもございますように、本年度は学園創立100周年の記念すべき年度であり、4月には記念式典を実施。また2回の国際シンポジウムも実施することで、学術面の支出も計上しました。記念事業として進めたiCommons、白川台キャンパス(大学)や地下体育館(高等学校・中学校(以下、高中))の各施設をより活用し教育活動が展開されています。「わがくるま星につなぐ”甲南の星奨学金”(大学・高中。大学は令和2年度より決算計上)、「荣誉待生奨学金”(大学)の100周年記念奨学金もスタートし、甲南第2世紀が幕を開けました。また大学では教学新機軸を推進し、KONANプレミア・プロジェクトもPDCAのサイクルに乗せ、より発展的に活動を展開できました。高中ではコース制の定着、理系・国際的な切り口から各種ラボの展開も着実に実施しました。

他方で年度末に拡大した新型コロナウイルス感染拡大の余波を受け、年度末の教育・研究活動が制約され、各種イベントを見合わせる事態となり、結果的に経費面の支出が抑制されました(その結果、事業活動収支において、予算で98.2%であった支出割合が、決算では97.6%となりました)。次年度は新型コロナウイルスへの対応としての支出が見込まれます。必要な支出は適宜柔軟に行うことで、この事態を乗り切るべく諸方策を講じていきます。

年度末のストック面の具体的な数字は18ページの貸借対照表のとおりです。100周年記念事業で計画した諸施設への投資には、主に償却引当特定資産を充当しましたが、その再投資資金を厚くすべく、本年度も同資産を積み増し、償却引当預金率を増やしました。

以下、各決算数字をご説明します。

## 資金収支計算書(学園総括) 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:千円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	11,210,173	11,229,605	△ 19,432	人件費支出	7,862,320	7,920,152	△ 57,832
手数料収入	586,788	573,999	12,789	教育研究経費支出	3,488,951	3,306,160	182,791
寄付金収入	354,609	368,143	△ 13,534	管理経費支出	792,938	735,881	57,057
補助金収入	1,389,478	1,390,933	△ 1,455	借入金等利息支出	0	0	0
資産売却収入	0	0	0	借入金等返済支出	0	0	0
付随事業・収益事業収入	153,435	150,657	2,778	施設関係支出	769,343	711,848	57,495
受取利息・配当金収入	315,501	316,086	△ 585	設備関係支出	353,468	313,794	39,674
雑収入	345,577	356,369	△ 10,792	資産運用支出	2,953,993	4,120,668	△ 1,166,675
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	782,887	868,785	△ 85,898
前受金収入	1,999,602	1,893,221	106,381	予備費	(223,245)		
その他の収入	3,175,170	3,293,900	△ 118,730		46,755	46,755	
資金収入調整勘定	△ 2,053,278	△ 2,129,186	75,908	資金支出調整勘定	△ 430,741	△ 730,303	299,562
前年度繰越支払資金	10,079,680	10,079,680	0	翌年度繰越支払資金	10,936,821	10,276,422	660,399
収入の部合計	27,556,735	27,523,407	33,328	支出の部合計	27,556,735	27,523,407	33,328

(注記) 予備費からの振替

計: 223,245 (教育研究経費支出: 162,637、管理経費支出: 9,955、施設関係支出: 21,344、設備関係支出: 29,309)

## 資金収支決算の概要

予算対比では、学生生徒等納付金収入、寄付金収入が伸びました。前者は奨励・認定留学生数の学費減免分を計上したこと、後者は教育に対する振興募金の受入れが増加しました。また雑収入は依願退職者が発生し、退職金財団交付金収入が増えました。他方で指定校や公募制入試など12月までに実施した入試制度の志願者数は堅調でしたが、年明け以降の入試で大学・高中ともに志願者数は減少しました。補助金収入は高中で補助率が高く増額となり、また大学ではこれまでに評価されてきた特色ある教育の実践や地域との連携活動にかかる取組みに加え、産業界と連携した社会発展に貢献しうる研究活動の取組みが評価され、補助金が増額されましたが、想定より厳しい圧縮率により最終的に減額となりました。なお新型コロナウイルス感染症拡大により、年度末に施設貸出を見合わせたため、施設利用料の収入は減少しました。

他方で支出面は、執行時段階での内容精査と再検討、相見積もりの実施を引き続き進めていますが、今期は新型コロナウイルス感染症拡大により、年度末の海外渡航・出張・イベントが中止となり、更には外出自粛による出校停止措置も影響したこともあり、各科目で執行残が発生しました。

また引当特定資産への積増しである「資産運用支出」は例年通り経常的な資金の増加分を繰入れたため、予算を上回りました。

なお資金収支は3つの活動区分に分けた「活動区分資金収支計算書」では、今年度も「施設整備等活動」は支出超過となりましたが、これは償却引当特定資産を積増したことが大きな理由です。また「その他の活動」である受取利息・配当金収入も、例年通り理事長・学長・校長から提案された「優秀な学生への支援」、「学園の戦略広報・スポーツ強化支援」及び「国際的に卓越した研究推進」等への財源として、主に「教育活動」として使用しました。

(活動区分資金収支計算書は14ページに掲載しています。)

## 活動区分資金収支計算書(学園総括) 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:千円)

(注記) 調整勘定の計算 (単位:千円)

科目	金額
収入	
学生生徒等納付金収入	11,229,605
手数料収入	573,999
特別寄付金収入	167,544
経常費等補助金収入	1,361,996
付随事業収入	150,567
雑収入	356,369
教育活動資金収入計	13,840,080
支出	
人件費支出	7,920,152
教育研究経費支出	3,306,160
管理経費支出	735,881
教育活動資金支出計	11,962,193
差調整勘定引	1,877,887
調整勘定等	△ 51,594
教育活動資金収支差額	1,826,293

科目	金額
収入	
施設設備寄付金収入	200,599
施設設備補助金収入	28,937
施設設備売却収入	0
第2号基本金引当特定資産取崩収入	0
償却引当特定資産取崩収入	1,121,580
理系学部設備充実費引当特定資産取崩収入	34,022
施設整備等活動資金収入計	1,385,138
支出	
施設関係支出	711,848
設備関係支出	313,794
第2号基本金引当特定資産繰入支出	0
償却引当特定資産繰入支出	2,418,703
理系学部設備充実費引当特定資産繰入支出	43,161
施設整備等活動資金支出計	3,487,506
差調整勘定引	△ 2,102,368
調整勘定等	△ 10,590
施設整備等活動資金収支差額	△ 2,112,958
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 286,665

科目	金額
収入	
借入金等収入	0
第3号基本金引当特定資産取崩収入	0
退職給与引当特定資産取崩収入	743,738
大学教育・研究環境整備充実引当特定資産取崩収入	429,868
大学将来計画準備引当特定資産取崩収入	364,625
平生太郎基金引当特定資産取崩収入	37,406
岡崎一雄基金引当特定資産取崩収入	4,800
八木慎二基金引当特定資産取崩収入	5,825
中高教育充実引当特定資産取崩収入	0
貸付金回収収入	42,486
預り金受入収入	297,271
仮払金受入収入	698
立替金受入収入	0
敷金・保証金回収収入	0
小計	1,926,717
受取利息・配当金収入	316,086
収益事業収入	90
その他の活動資金収入計	2,242,893
支出	
借入金等利息支出	0
借入金等返済支出	0
第3号基本金引当特定資産繰入支出	7,244
退職給与引当特定資産繰入支出	724,537
大学教育・研究環境整備充実引当特定資産繰入支出	400,000
大学将来計画準備引当特定資産繰入支出	382,809
平生太郎基金引当特定資産繰入支出	144,104
岡崎一雄基金引当特定資産繰入支出	1
八木慎二基金引当特定資産繰入支出	0
中高教育充実引当特定資産繰入支出	0
出資金支出	109
貸付金支払支出	580
預り金支払支出	198,892
仮払金支払支出	47
立替金支払支出	1,163
敷金・保証金支払支出	0
その他の活動資金支出計	1,859,486
差調整勘定引	383,407
調整勘定等	100,000
その他の活動資金収支差額	483,407
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	196,742
前年度繰越支払資金	10,079,680
翌年度繰越支払資金	10,276,422

※企業会計と学校法人会計の相違につきましては、本学ホームページに記載しています。

科目	金額
収入	
前受金収入	1,893,221
前期末前受金*	△ 1,905,001
前期末未収入金収入	180,469
期末未収入金*	△ 195,894
収入計	△ 27,205
支出	
前払金支払支出	216,235
前期末前払金*	△ 150,565
前期末未払金支払支出	407,623
期末未払金*	△ 448,904
支出計	24,389
調整勘定計	△ 51,594

科目	金額
収入	
前受金収入	0
前期末前受金*	0
前期末未収入金収入	31,112
期末未収入金*	△ 28,291
収入計	2,821
支出	
前払金支払支出	0
前期末前払金*	0
前期末未払金支払支出	44,245
期末未払金*	△ 30,834
支出計	13,411
調整勘定計	△ 10,590

科目	金額
収入	
前受金収入	0
前期末前受金*	0
前期末未収入金収入	0
期末未収入金*	0
収入計	0
支出	
前払金支払支出	0
前期末前払金*	0
前期末未払金支払支出	0
期末未払金*	△ 100,000
支出計	△ 100,000
調整勘定計	100,000

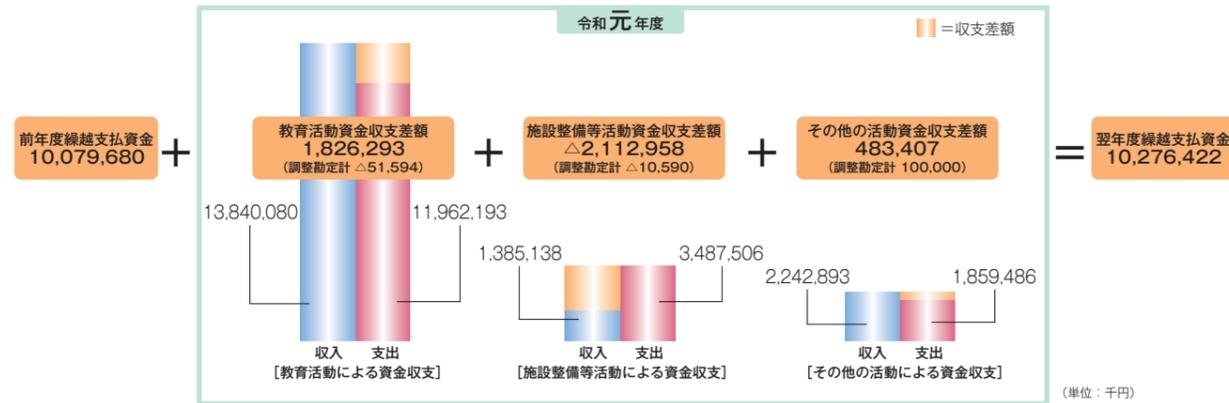
・「教育活動」: キャッシュベースで本業の教育活動の収支状況を把握できます。通常は「+」となります。  
 ・「施設整備等活動」: 当年度に施設設備の購入または売却その他これらに類する活動があったか、財源は何かを把握できます。教育活動のプラス分を施設整備にまわすため、通常は「-」となります。  
 ・「その他の活動」: 借入金の収支、資産運用の状況、収益事業にかかる活動等、主に財務活動を把握できます。教育や施設の資金を特定資産の取崩しや借入金で調達していれば「+」、逆に特定資産への繰入れが多いなどの場合は「-」となります。  
 上表の「\*」の科目が13ページの資金収支計算書(学園総括)の「資金収入(支出)調整勘定」となります。

### 用語の説明

- 資金収支** 1年間の教育研究活動に伴う資金の収入と資金の支出を明らかにし、支払資金の期末を表すものです。
- 活動区分資金収支** 資金収支のうち、施設設備の取替更新やさらなる取得を「施設整備等活動」として取り出し、また財務活動や収益事業さらには預り金の受払い等の経過的な活動を「その他の活動」として取り出し、それ以外のものを「教育活動」として、3つの活動に分けて表すものです。
- 事業活動収支** 企業会計の損益計算の仕組みを引用し、負債にならない収入(事業収入)と費用(事業支出)の内容と均衡の状態を明らかにしようとするものです。この収支は、経常的な収支のうち、財務活動(資金調達・運用)及び収益事業にかかる活動による「教育活動外収支」。また特殊要因によって一時的に発生した臨時的な活動(例: 過年度修正額、資産売却差額、資産処分差額、災害損失、さらには施設設備にかかる寄付金・補助金・現物寄付)による「特別収支」。そしてそれ以外の「借入金等活動収支」に分けて、収支の均衡を表示します。
- 事業活動収入** 資金収支計算書の収入の部の「学生生徒等納付金収入」「手数料収入」「寄付金収入」「補助金収入」「付随事業収入」「受取利息・配当金収入」「雑収入」「その他の特別収入(施設設備にかかる寄付金・補助金)」に現物寄付等を加えたもので、負債とならない正味の収入をいいます(外部からの借入金のように学校法人の負債となる収入は含みません)。
- 事業活動支出** 資金収支計算書の支出の部の「人件費支出(退職金支出を除き、事業活動支出科目の退職給与引当金繰入額・退職金を加える)」「教育研究経費支出」「管理経費支出(減価償却額を加える)」「借入金等利息支出」に事業活動支出のみの項目である「資産処分差額」「徴収不能額等」を加えたものです。
- 基本金組入前当年度収支差額** 事業活動収入と事業活動支出との差です。毎期の収支バランスをみるとともに、基本金組入れ余力を表示します。

# II 財務の概要

## I 繰越支払資金の流れ



## II 事業活動収支決算の概要

学園全体の事業活動収入は144億51百万円、事業活動支出は141億11百万円となり、差額である基本金組入前当年度収支差額は3億40百万円の収入超過となりました。また基本金組入額(本ページ下段《科目の説明》ご参照)は施設・設備関係支出を10億26百万円計上したものの、前年度繰延額・本年度除却額が多かったことから、2億22百万円に留まりました。その結果、基本金組入後の収支差額(当年度収支差額)は2年連続でプラスとなりました。なお前年度繰延額は今年度で大きく減少したため、次年度は基本金組入額が増額すると見込んでいます。

予算対比でみますと、事業活動収入(予算は144億06百万円)は45百万円上回りました。資金収支の箇所で説明した事項に加え、昨年度と同様に大学で科学研究費補助金で購入された機器を現物寄贈として受け入れ、寄付金が増加しました。他方、事業活動支出(予算は141億47百万円)は、人件費と、年度末の株価下落を受けた保有株式の減損処理を行い資産処分差額で予算を上回ったものの、経費に加えて予備費も97百万円残額が発生し、36百万円の減額となる141億11百万円となりました。

以上、収入は増額、支出は減額となり、予算では2億59百万円であった基本金組入前当年度収支差額は、3億40百万円となりました。

次に、前年度決算と比較しますと、収入は9百万円の減額、支出は1億40百万円の増額となりました。収入は学費改定4年目でしたが、大学で前年度と比べて200名を超える減員となり、学生生徒等納付金は微増でした(いわゆる教員学生比は改善しました)。また前年度よりも入学志願者数が減り、前年度広野校地売却による資産売却差額もなくなり減額となりました。他方、支出面は施設関係支出から教育研究経費への振替額が減ったものの、100周年記念事業にかかる支出、更には株価下落による資産処分差額の発生もあり、増額となりました。なおKONANプレミア・プロジェクトはプロジェクト数こそ統廃合もあり減りましたが、27百万円の増額となり、引き続き教育・研究活動が活発に展開していると言えます。

基本金組入額は前年度に引き続き2億円強に留まりましたが、これは前年度からの繰延額、当年度除却額を反映したものです。またこれまで奨学基金の充実を目指し、毎年50百万円を第3号基本金へ継続して組入れてきましたが、学園創立100周年記念奨学金を開始し、近年遺贈・寄付を財源とした奨学金制度も増えたことから、一旦この組入れを見合わせました。これらが重なり、69百万円減の2億22百万円となりました。

## 《科目の説明》

### 1. 学生生徒等納付金

授業料、入学金、施設設備資金、施設維持費、教育充実費、実験実習費等

### 2. 手数料

入学検定料、証明書手数料等

### 3. 寄付金

教育振興募金、100周年記念事業募金、遺贈募金、企業様からの研究助成等

### 4. 補助金

経常費補助金、研究装置、設備、施設整備費等補助金等

\* 研究設備や装置等の設備及び施設に対する寄付金と補助金は、特別収支の「その他の特別収入」に計上されます。

### 5. 受取利息・配当金

特定資産を含む金銭面の資産運用による収入(施設設備の貸出しによる「施設設備利用料収入」は含みません)

### 6. 資産売却差額

固定資産(建物・構築物・備品・図書等)の除却・廃棄、有価証券の処分の際の差額(簿価を上回った金額)

### 7. 付随事業・収益事業収入

補助活動や受託事業、収益事業にかかる収入等

### 8. 雑収入

退職金財団からの交付金収入、研究費の間接経費分の収入、施設設備の貸出しによる収入等

### 9. 人件費

教員・職員に支給する本俸・期末手当・その他の手当及び所定福利費、役員報酬、退職給付引当金繰入額、退職金

### 10. 教育研究経費

教育研究のために要する経費及び教育研究用減価償却資産の減価償却額

### 11. 管理経費

教育研究経費以外の経費及び教育研究用以外の減価償却資産の減価償却額

### 12. 資産処分差額

固定資産(建物・構築物・備品・図書等)の除却・廃棄、有価証券の処分の際の差額(簿価を下回った金額)

### 13. 徴収不能額等

奨学金回収不能額を見積る引当金計上額、徴収が不能または徴収を免除した徴収不能額

### 14. 基本金組入額

校地・校舎・機器備品・図書等の充実・拡充のために取得した固定資産の充実に要した額及び教育研究基金等への組入額

(基本金は学校法人が教育・研究を継続的に維持向上させていくために必要な校地・校舎、機械器具、図書等取得した金額(第1号基本金)、校地・校舎等取得するために年次的・段階的に積み立てる資金(第2号基本金)、教育・研究を維持充実するための積立(第3号基本金)及び恒常的に保持すべき資金として文部科学大臣の定める額(第4号基本金)の確保のために、充てられる金額です。)

## III 事業活動収支決算書・構成比率(学園総括)

(単位：千円)

科目	予算	決算	差異	比率
教育活動収入				
学生生徒等納付金	11,210,173	11,229,605	△ 19,432	77.7%
手数料	586,788	573,999	12,789	4.0%
寄付金	156,505	167,544	△ 11,039	1.2%
経常費等補助金	1,360,541	1,361,996	△ 1,455	9.4%
付随事業収入	153,135	150,567	2,568	1.0%
雑収入	345,577	359,389	△ 13,812	2.5%
教育活動収入計	13,812,719	13,843,100	△ 30,381	95.8%
事業活動支出				
人件費	7,837,120	7,881,750	△ 44,630	54.5%
教育研究経費	5,409,160	5,195,052	214,108	36.0%
管理経費	803,397	755,933	47,464	5.2%
徴収不能額等	0	0	0	0.0%
教育活動支出計	14,049,677	13,832,735	216,942	95.7%
教育活動収支差額	△ 236,958	10,365	△ 247,323	

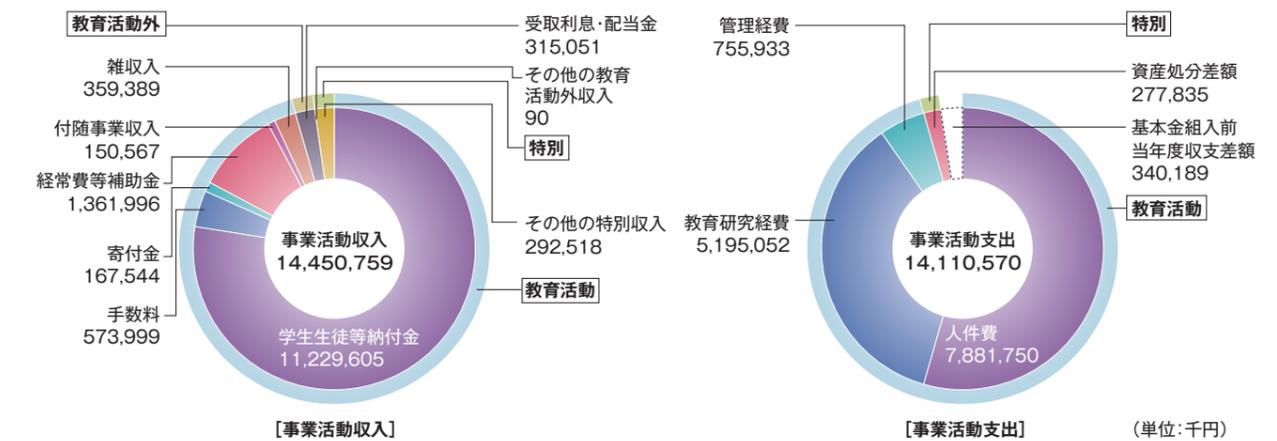
科目	予算	決算	差異	比率
教育活動外収入				
受取利息・配当金	315,501	315,051	450	2.2%
その他の教育活動外収入	300	90	210	0.0%
教育活動外収入計	315,801	315,141	660	2.2%
事業活動支出				
借入金等利息	0	0	0	0.0%
その他の教育活動外支出	0	0	0	0.0%
教育活動外支出計	0	0	0	0.0%
教育活動外収支差額	315,801	315,141	660	
経常収支差額	78,843	325,506	△ 246,663	

科目	予算	決算	差異	比率
特別収入				
資産売却差額	0	0	0	0.0%
その他の特別収入	277,041	292,518	△ 15,477	2.0%
特別収入計	277,041	292,518	△ 15,477	2.0%
事業活動支出				
資産処分差額	0	277,835	△ 277,835	1.9%
その他の特別支出	0	0	0	0.0%
特別支出計	0	277,835	△ 277,835	1.9%
特別収支差額	277,041	14,683	262,358	

[ 予 備 費 ]	97,408		97,408	
基本金組入前当年度収支差額	258,476	340,189	△ 81,713	
基本金組入額合計	△ 695,456	△ 221,660	△ 473,796	△ 1.5%
当年度収支差額	△ 436,980	118,529	△ 555,509	
前年度繰越収支差額	△ 16,820,325	△ 16,820,325	0	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 17,257,305	△ 16,701,796	△ 555,509	

(参考)

事業活動収入計	14,405,561	14,450,759	△ 45,198	100.0%
事業活動支出計	14,147,085	14,110,570	36,515	97.6%



※表の構成比率及び円グラフは、事業活動収入計「決算」を100とした場合の、当該科目の比率及び円グラフとなっています。

・「その他の教育活動外収入」には、収益事業収入が計上されています。

・「その他の特別収入」には、施設設備の寄付金と補助金、現物寄付が計上されています。

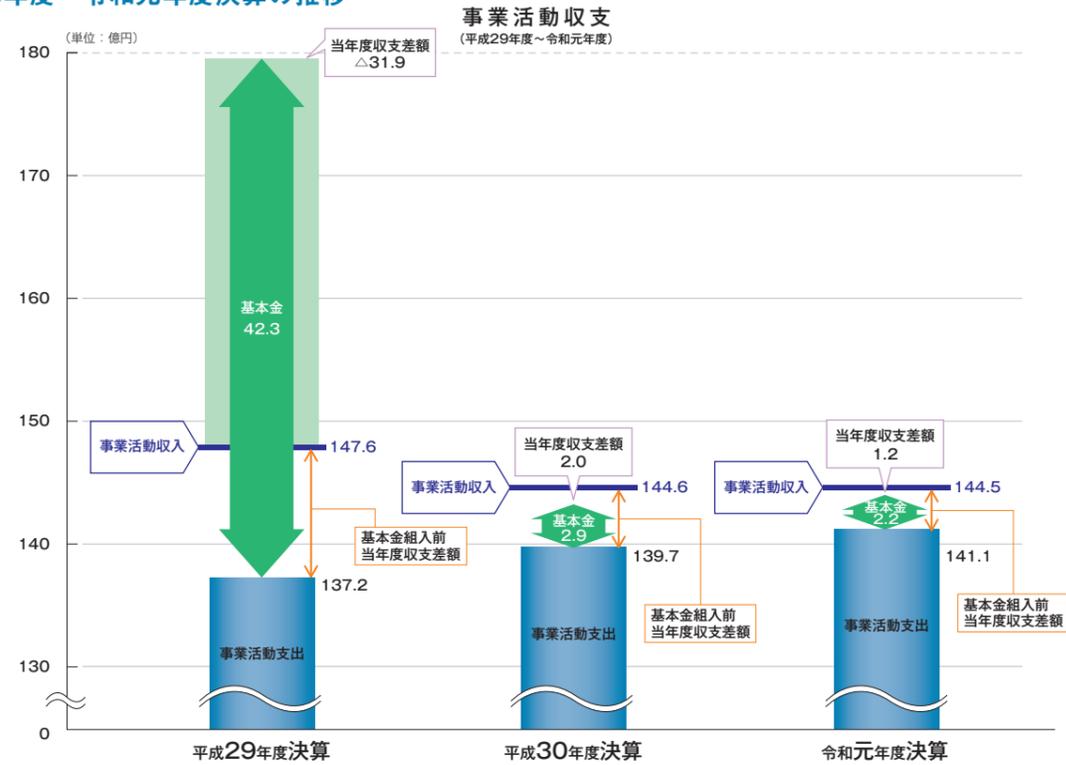
# II 財務の概要

## I 事業活動収支(旧:消費収支)決算の推移(学園総括) 平成26年度から令和元年度まで (単位:千円)

科目	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業活動収入 (旧:帰属収入)		13,635,490	13,822,799	14,311,092	14,759,591	14,460,104	14,450,759
基本金組入額		△ 1,299,164	△ 2,703,176	△ 1,791,097	△ 4,226,794	△ 290,821	△ 221,660
旧:消費収入		12,336,326	11,119,623	12,519,995	10,532,797	14,169,283	14,229,099
事業活動支出 (旧:消費支出)		13,483,757	13,523,535	13,622,500	13,718,286	13,970,847	14,110,570
基本金組入前当年度収支差額 (旧:帰属収支差額)		151,733	299,264	688,592	1,041,305	489,257	340,189
当年度収支差額 (旧:消費収入超過額)		△ 1,147,431	△ 2,403,912	△ 1,102,505	△ 3,185,489	198,436	118,529
基本金取崩額		-	-	-	-	47,458	-
当年度収支差額累計		△ 10,374,313	△ 12,778,225	△ 13,880,730	△ 17,066,219	△ 16,820,325	△ 16,701,796

(注)「事業活動収入」の「(旧:帰属収入)」は、平成26年度までの学校法人会計基準(旧基準)では「帰属収入」であったことを表します。

## II 平成29年度～令和元年度決算の推移



## III 主な施設・設備の整備状況(学園全体)

令和元年度に行った主な工事は以下のとおりです。

工事名称	対象施設	概要
空調改修工事	大学 岡本キャンパス10号館、13号館、14号館、17号館	老朽化した空調設備を更新。省エネ化を図るとともに快適な教育環境を提供。
窓ガラス及び外壁改修工事	大学 岡本キャンパス5号館	建築基準法に基づく外壁定期点検・補修を実施するとともに、省エネ化を図るため窓ガラスの複層化工事を実施。
トレーニングルーム天井、床改修工事	大学 六甲アイランド体育館	天井落下防止対策として、天井改修工事を実施するとともに床を改修し、トレーニングを実施するのに快適な環境を提供。
講義室改修工事	大学 岡本キャンパス1号館、10号館	1号館142講義室、10号館南館1階講義室(4室)の家具を更新するとともに床の貼り替えを実施。10号館の講義室においては、さらに照明のLED化を実施し、快適な教育環境を提供。
学生ラウンジ改修工事	大学 岡本キャンパス1号館	1号館3階ラウンジにおいて床の貼り替えを実施。
自動火災報知設備更新工事	大学 岡本キャンパス10号館	老朽化した消防設備を更新。
音響設備更新工事	大学 甲友会館大ホール	老朽化した音響設備を更新。
グラウンド改修工事	中高 大グラウンド	グラウンドの水はけの改善を実施。
トイレ改修工事	中高 校舎棟(北館・南館)、甲友会館、体育館、講堂棟、プール	トイレの洋便化及びウォシュレットを設置し、ブースを更新。
教室照明LED化	中高 中学棟	教室の照明のLED化を実施し、快適な教育環境を提供。
ブロック塀撤去・再整備工事	大学・中高 岡本キャンパス、中高テニスコート	3年計画の2年目の工事が完了。岡本キャンパス8号館北側及び第2駐車場南側擁壁、中高テニスコートにおいてブロック塀等をフェンスに再整備。

## I 貸借対照表(令和2年3月31日) (単位:千円)

資産の部			負債の部				
科目	令和元年度末	平成30年度末	増減	科目	令和元年度末	平成30年度末	増減
固定資産	80,524,156	80,283,430	240,726	固定負債	4,540,563	4,620,386	△ 79,823
有形固定資産	59,343,953	60,286,875	△ 942,922	長期借入金	0	0	0
土地	22,441,976	22,441,976	0	長期未払金	62,130	103,551	△ 41,421
建物	28,344,213	29,151,297	△ 807,084	退職給与引当金	4,478,433	4,516,835	△ 38,402
構築物	1,466,706	1,569,008	△ 102,302	流動負債	2,815,926	2,560,037	255,889
教育研究用機器備品	1,610,338	1,669,847	△ 59,509	短期借入金	0	0	0
管理用機器備品	26,013	21,888	4,125	未払金	624,712	455,422	169,290
図書	5,452,063	5,425,646	26,417	前受金	1,893,943	1,905,723	△ 11,780
車輜	2,644	4,286	△ 1,642	預り金	297,271	198,892	98,379
建設仮勘定	0	2,927	△ 2,927	負債の部合計	7,356,489	7,180,423	176,066
特定資産	20,832,088	19,629,984	1,202,104				
第2号基本金引当特定資産	115,457	115,457	0	大学施設設備充実資金	115,457	(令和元年度末)	
第3号基本金引当特定資産	5,111,211	5,109,792	1,419	奨学助成基金	1,770,909		
退職給与引当特定資産	2,239,217	2,258,418	△ 19,201	国際教育研究交流基金	1,387,972		
償却引当特定資産	7,474,758	6,328,516	1,146,242	八木慎二「わがみちをすすめ」奨学基金	652,157		
理系学部設備充実費引当特定資産	174,874	165,736	9,138	教育・研究助成(中高)基金	488,802		
大学教育・研究環境整備充実費引当特定資産	2,278,020	2,307,888	△ 29,868	他	(令和元年度末)		
大学将来計画準備引当特定資産	974,823	956,640	18,183				
平生太郎基金引当特定資産	2,205,285	2,118,470	86,815				
岡崎一雄基金引当特定資産	4,741	9,540	△ 4,799				
八木慎二基金引当特定資産	180,268	186,093	△ 5,825				
中高教育充実引当特定資産	73,434	73,434	0				
その他の固定資産	348,115	366,571	△ 18,456				
電話加入権	4,609	4,609	0				
施設利用権	4,628	5,800	△ 1,172				
ソフトウェア	28,618	7,124	21,494				
長期貸付金	158,130	197,017	△ 38,887				
長期未収入金	0	0	0				
出資金	25,356	25,247	109				
敷金・保証金	126,774	126,774	0				
流動資産	10,718,280	10,442,751	275,529				
現金預金	10,276,422	10,079,680	196,742				
未収入金	224,354	211,749	12,605				
前払金	216,234	150,565	65,669				
仮払金	107	757	△ 650				
立替金	1,163	0	1,163				
資産の部合計	91,242,436	90,726,181	516,255				
				純資産の部			
				科目	令和元年度末	平成30年度末	増減
				基本金	100,587,743	100,366,083	221,660
				第1号基本金	94,537,075	94,316,834	220,241
				第2号基本金	115,457	115,457	0
				第3号基本金	5,111,211	5,109,792	1,419
				第4号基本金	824,000	824,000	0
				繰越収支差額	△ 16,701,796	△ 16,820,325	118,529
				翌年度繰越収支差額	△ 16,701,796	△ 16,820,325	118,529
				純資産の部合計	83,885,947	83,545,758	340,189
				負債及び純資産の部合計	91,242,436	90,726,181	516,255

## (注記) 貸借対照表の補足説明

その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

○有価証券の時価情報(総括表)

(単位:千円)

種類	令和元年度(令和2年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの(うち満期保有目的の債券)	4,692,832 (800,000)	7,051,874 (834,846)	2,359,042 (34,846)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの(うち満期保有目的の債券)	6,283,407 (2,900,000)	5,515,885 (2,581,562)	△ 767,522 (△ 318,438)
合計(うち満期保有目的の債券)	10,976,239 (3,700,000)	12,567,759 (3,416,408)	1,591,520 (△ 283,592)
時価のない有価証券	8,000		
有価証券合計	10,984,239		

## I 財務状況の推移(学園総括) 平成26年度から令和元年度まで

(単位:千円)

科目	年度	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末
総資産		88,639,938	88,767,591	89,111,390	90,421,004	90,726,181	91,242,436
固定資産		78,346,382	78,854,695	79,003,218	79,898,895	80,283,430	80,524,156
有形固定資産		57,515,542	57,907,450	58,810,260	60,994,744	60,286,875	59,343,953
特定資産		20,228,064	20,018,230	19,719,139	18,487,470	19,629,984	20,832,088
その他の固定資産		602,776	929,015	473,819	416,681	366,571	348,115
流動資産		10,293,556	9,912,896	10,108,172	10,522,109	10,442,751	10,718,280
総負債		7,612,598	7,440,987	7,096,194	7,364,503	7,180,423	7,356,489
固定負債		4,678,542	4,584,451	4,549,490	4,527,761	4,620,386	4,540,563
流動負債		2,934,056	2,856,536	2,546,704	2,836,742	2,560,037	2,815,926
(うち、借入金)		0	0	0	0	0	0
基本金		91,401,653	94,104,829	95,895,926	100,122,720	100,366,083	100,587,743
繰越収支差額 (旧:消費収支差額)		△ 10,374,313	△ 12,778,225	△ 13,880,730	△ 17,066,219	△ 16,820,325	△ 16,701,796
正味財産		81,027,340	81,326,604	82,015,196	83,056,501	83,545,758	83,885,947

(注) 平成27年度の学校法人会計基準の改正(新基準)から、「その他の固定資産」のうち、各種引当特定資産を抽出して中科目「特定資産」が新設されました。(平成26年度以前も新基準に合わせて分解し、表示しています。)

## I 財務比率の推移(学園総括) 平成26年度から令和元年度まで

経年推移・比較が分かるよう、旧基準の数値も掲載しています。

(単位:%)

	比率名	算式(×100)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
貸借対照表関係	固定資産構成比率	固定資産 総資産	88.4 (87.2)	88.8 (87.2)	88.7 (87.3)	88.4 (87.3)	88.5 (87.3)	88.3
	固定比率	固定資産 純資産(旧:自己資金)	96.7 (100.5)	97.0 (100.3)	96.3 (100.1)	96.2 (99.9)	96.1 (99.7)	96.0
	固定長期適合率	固定資産 純資産+固定負債 (純資産は、旧:自己資金)	91.4 (92.2)	91.8 (92.2)	91.3 (92.2)	91.2 (92.2)	91.1 (92.1)	91.1
	流動比率	流動資産 流動負債	350.8 (235.3)	347.0 (239.1)	396.9 (237.9)	370.9 (240.2)	407.9 (242.5)	380.6
	流動負債構成比率	流動負債 総負債+純資産	3.3 (5.4)	3.2 (5.3)	2.9 (5.3)	3.1 (5.3)	2.8 (5.2)	3.1
	総負債比率	総負債 総資産	8.6 (13.3)	8.4 (13.0)	8.0 (12.8)	8.1 (12.6)	7.9 (12.5)	8.1
	退職給与引当預金率	退職給与引当特定預金(資産) 退職給与引当金	50.0 (65.5)	50.0 (67.7)	50.0 (68.5)	50.0 (69.0)	50.0 (70.6)	50.0
	償却引当預金率	償却引当特定預金(資産) 償却引当金	29.0 (18.3)	24.3 (17.9)	23.1 (17.4)	16.5 (17.8)	18.8 (17.7)	21.2

(単位:%)

	比率名	算式(×100)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業活動収支関係	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 事業活動収入 (旧:帰属収入)	77.8 (73.9)	77.0 (73.6)	74.9 (73.2)	74.3 (74.3)	77.6 (74.5)	77.7
		[新]学生生徒等納付金 経常収入	78.5	80.4 (75.9)	80.0 (75.0)	76.5 (76.0)	79.8 (75.9)	79.3
	寄付金比率	寄付金 事業活動収入 (旧:帰属収入)	1.3 (1.6)	1.9 (1.9)	4.6 (3.9)	8.1 (1.7)	3.0 (2.3)	3.0
	[新]経常寄付金比率	[新]教育活動収入の寄付金 経常収入	0.9	0.8 (1.2)	1.6 (2.7)	5.3 (1.3)	1.1 (1.3)	1.2
	補助金比率	補助金 事業活動収入 (旧:帰属収入)	10.0 (11.9)	11.6 (11.2)	11.9 (11.0)	8.4 (11.1)	8.0 (11.5)	9.6
	[新]経常補助金比率	[新]教育活動収入の補助金 経常収入	9.6	8.9 (11.5)	9.3 (11.3)	8.6 (11.4)	8.0 (11.7)	9.6
	人件費比率	人件費 帰属収入 (新:事業活動収入)	59.8 (52.3)	56.2 (51.7)	53.2 (51.7)	52.4 (52.1)	54.2 (52.0)	54.5
		[新]人件費 経常収入	60.2	58.7 (53.3)	56.8 (52.9)	54.1 (53.4)	55.8 (52.9)	55.7
	人件費依存率	人件費 学生生徒等納付金	76.8 (70.8)	73.1 (70.3)	70.9 (70.5)	70.6 (70.2)	69.9 (69.8)	70.2
	教育研究経費比率	教育研究経費 帰属収入 (新:事業活動収入)	34.5 (33.6)	35.6 (33.4)	34.5 (32.6)	34.6 (33.3)	36.3 (33.8)	36.0
	[新]教育研究経費 経常収入	34.8	37.2 (34.4)	36.9 (33.4)	35.7 (34.1)	37.4 (34.4)	36.7	
管理経費比率	管理経費 帰属収入 (新:事業活動収入)	4.3 (7.5)	4.4 (7.3)	4.5 (7.4)	4.5 (7.3)	5.1 (7.5)	5.2	
	[新]管理経費 経常収入	4.4	4.6 (7.6)	4.8 (7.6)	4.6 (7.4)	5.2 (7.6)	5.3	
事業活動支出比率	(旧:消費支出) 事業活動支出 事業活動収入 (旧:帰属収入)	98.9 (94.9)	97.8 (94.0)	95.2 (93.2)	92.9 (94.2)	96.6 (95.2)	97.6	
基本金組入率	基本金組入額 事業活動収入 (旧:帰属収入)	9.5 (10.2)	19.6 (10.9)	12.5 (12.1)	28.6 (10.1)	2.0 (10.0)	1.5	

(注) ( )内は全国理工他複数学部法人平均。  
 ・「新」は平成27年度の学校法人会計基準の一部改正(新基準)を受けたものであることを表します。  
 ・「固定資産」=有形固定資産+特定資産+その他の固定資産。平成27年度からの新基準より、「その他の固定資産」から各種引当特定資産を抽出して「特定資産」が区分されました。  
 ・「純資産」=旧来の「自己資金」。「自己資金」は基本金+消費収支差額であり、新基準では基本金+繰越収支差額となります。  
 ・「経常収入」=教育活動収入+教育活動外収入。

# Ⅲ 法人の概要

<b>名称</b>	学校法人甲南学園		
<b>法人設立の年月日</b>	大正7(1918)年12月20日		
<b>設置学校</b>	甲南大学・大学院		
	◎岡本キャンパス	〒658-8501	兵庫県神戸市東灘区岡本8丁目9番1号
	◎西宮キャンパス	〒663-8204	兵庫県西宮市高松町8番33号
	◎ポートアイランドキャンパス	〒650-0047	兵庫県神戸市中央区港島南町7丁目1番20
	-----		
	甲南高等学校・中学校	〒659-0096	兵庫県芦屋市山手町31番3号

## Ⅰ役員(令和2年3月31日現在)

### 理事※1

定数19～29名以内  
現員27名

吉 沢 英 成 (理事長)
長 坂 悦 敬 (常任理事 甲南大学長)
山 内 守 明 (常任理事 甲南高等学校・中学校長)
谷 富 夫 (甲南大学文学部長)
秋 宗 秀 俊 (甲南大学理工学部長)
岡 田 元 浩 (甲南大学経済学部長)
池 田 佳 隆 (甲南大学法学部長)
三 上 和 彦 (甲南大学経営学部長)
渡 辺 颯 修 (常任理事 甲南大学大学院法学研究科長)
市 川 典 男
片 山 勉 (副理事長 常任理事)
佐 藤 治 正 (常任理事 甲南大学マネジメント創造学部)
佐 藤 泰 弘 (常任理事 甲南大学副学長)
中 井 伊 都 子 (常任理事 甲南大学副学長)
葉 袋 真 人 (常勤)
山 田 純 嗣
伊 藤 勲
稲 垣 嗣 夫 (常任理事)
小 西 新 太 郎
杉 本 直 己 (甲南大学先端生命工学研究所長)
角 和 夫
中 内 仁
野 澤 太 一 郎 (常任理事)
平 生 誠 三
平 野 欽 一 郎 (常務理事)

水 越 浩 士
村 津 敬 介 (常任理事)

### 監事※2

定数2～3名以内  
現員2名

植 村 武 雄
牧 美 喜 男

### 評議員※3

定数41～60名以内  
現員56名

石 井 昇 (学内)
石 野 牧 生 (学内)
河 口 浩 (学内)
高 龍 秀 (学内)
谷 向 豊 (学内)
寺 尾 建 (学内)
濱 谷 和 生 (学内)
林 正 樹 (学内)
村 嶋 貴 之 (学内)
足 立 恵 英 (学内)
吉 田 和 史 (学内)
赤 田 真 朗
衣 斐 茂 樹

奥 田 兼 三
小 倉 宏 之
片 山 勉 (学内)
佐 藤 茂
白 石 朋 康
杉 山 洋 一
立 野 純 三
道 満 善 弘
松 井 佐 一 郎
丸 谷 昭 博
葉 袋 真 人 (学内)
和 田 直 哉
稲 垣 嗣 夫
平 生 誠 三
平 野 欽 一 郎 (学内)
吉 沢 英 成 (学内)
長 坂 悦 敬 (学内)
山 内 守 明 (学内)
谷 富 夫 (学内)
秋 宗 秀 俊 (学内)
岡 田 元 浩 (学内)
池 田 佳 隆 (学内)
三 上 和 彦 (学内)
渡 辺 颯 修 (学内)
大 垣 利 哉

上 林 宏 充
清 水 弓 彦
田 中 由 里 子
湯 浅 弘
岸 田 志 津 子
森 本 榮
市 川 典 男
岩 田 憲 明
上 島 一 泰
加 藤 隆 久
佐 々 木 良 太 郎
佐 藤 治 正 (学内)
佐 藤 泰 弘 (学内)
中 井 伊 都 子 (学内)
西 田 和 雅 (学内)
細 谷 俊 雄
山 下 英 久
山 田 純 嗣

※1 学校法人の決議機関は理事会であり、私立学校法は、「学校法人に理事をもって組織する理事会を置く。」「理事会は学校法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。」としています。理事は理事会に参画し、学校法人の業務を決めていきます。

※2 監事は、理事と同じように学校法人の役員となっています。監事は監査機関であって、①学校法人の業務、②学校法人の財産の状況を監査すること等が主たる職務とされています。そのほか、監査報告書の作成、学校法人の業務又は財産の状況について、理事会に出席して意見を述べることその職務とされています。監事は、評議員会の同意を得て理事長が選任します。また、監事は、監査の公正を保つために、理事、評議員又は学校法人の職員と兼ねてはならないこととされています。

※3 評議員会は、学校法人の重要事項について、理事長から意見を求められ、理事長に対して意見を述べる諮問機関としての役割があります。予算の決定、基本財産の処分、寄附行為の変更等の重要案件については、理事長はあらかじめ評議員会から意見を聞かなければならないこととされています。

## Ⅰ土地と建物(令和2年3月31日現在)

<b>土地面積</b>	
大学	195,093.32㎡
高中	45,791.00㎡
その他(職員住宅等)	7,026.00㎡
土地面積総合計	247,910.32㎡

<b>建物面積</b>	
大学	145,442.22㎡
高中	18,944.16㎡
その他(職員住宅等)	3,646.65㎡
建物面積総合計	168,033.03㎡

## 大学・大学院・高等学校・中学校基本データ

### Ⅰ学位授与

#### 学士

学 部	学 士 (分野)	学 科
文 学 部	学士 (文 学)	日本語日本文学科
	学士 (社会学)	英語英米文学科
		社会学科
		人間科学科
理 工 学 部	学士 (理工学)	物理学科
	学士 (理 学)	生物学科
		機能分子化学科
		経済学科
経 済 学 部	学士 (経済学)	法学科
法 学 部	学士 (法 学)	経営学科
経 営 学 部	学士 (経営学)	知能情報学科
知 能 情 報 学 部	学士 (工 学)	
	学士 (情報学)	
	学士 (理 学)	
マ ネ ジ メ ン ト 創 造 学 部	学士 (マネジメント)	マネジメント創造学科
フ ロ ン テ ィ ア サ イ エ ン ス 学 部	学士 (理工学)	生命化学科

#### 修士

研究科	修 士 (分野)	専 攻
人 文 科 学 研 究 科	修士 (文 学)	日本語日本文学専攻
	修士 (社会学)	英語英米文学専攻
		応用社会学専攻
自 然 科 学 研 究 科	修士 (理 学)	人間科学専攻
	修士 (工 学)	物理学専攻
	修士 (情報学)	化学専攻
		生物学専攻
		知能情報学専攻
社 会 科 学 研 究 科	修士 (経済学)	経済学専攻
	修士 (経営学)	経営学専攻
	修士 (理工学)	生命化学専攻

#### 博士

研究科	博 士 (分野)	専 攻
人 文 科 学 研 究 科	博士 (社会学)	3名
自 然 科 学 研 究 科	博士 (理学)	3名
	博士 (工学)	1名
社 会 科 学 研 究 科	博士 (経営学)	1名

#### 専門職

研究科	学 位 (専門職)	専 攻
法 学 研 究 科	法務博士(専門職)	7名
	法務専攻	7名

### Ⅰ留学生数

#### 大学

主な国際交流・留学支援プログラム	派遣人数	受入人数	
中長期留学プログラム	交換留学 (1年)	12	6 (*10)
	交換留学 (半年)	4	3 (*1)
	語学プラス交換留学 (語学+専門科目)	3	—
	奨励留学	76	—
	認定校留学	15	—
	マネジメント創造学部派遣留学 (特別留学コース)	20	—
	マネジメント創造学部派遣留学 (マネジメントコース)	1	—
	甲南大学イヤー・イン・ジャパンプログラム	—	32
	小計	131	41
	私費外国人留学生・研究生	—	7
その他	海外インターンシップ・海外企業訪問 (マネジメント創造学部)	12	—
	海外フィールドワーク・海外ボランティア (マネジメント創造学部)	16	—
	エリアスタディーズ (短期留学体験型プログラム)	133	—
	海外ボランティア	18	—
	日本語教授法実習	5	—
	海外語学講座	45	—
	夏期日本語集中講座	—	31
	協定校プログラム	0	69
	小計	229	107
	合計	360	148

#### 高等学校・中学校

主な留学派遣・受入先	派遣人数	受入人数	
交換留学	イギリス	1	2
	オーストラリア	2	2
	アメリカ (ハワイ)	1	1
	カナダ	5	—
グローバル・スタディ・プログラム	アメリカ	1	—
	オーストラリア	3	—
	イギリス	4	—
	ニュージーランド	6	—
	オーストラリア	24	—
グローバル・ファウンデーション	—	—	
英語研修	—	20	
NASA・FITサイエンスツアー	—	13	
グローバル・スタディ・ツアー	—	15	

※は、甲南大学イヤー・イン・ジャパンプログラム32名中の交換留学生数

# Ⅲ 法人の概要

## I 入学試験状況

### 大学

学部・学科	一般入試			センター利用入試			その他の入試			
	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	
文学部	日本語日本文学科	451	446	136	285	282	69	72	71	29
	英語英米文学科	437	432	128	294	293	89	99	98	51
	社会学科	571	567	109	408	406	82	102	102	53
	人間科学科	654	639	165	384	382	73	121	118	50
	歴史文化学科	505	494	90	388	382	61	72	72	39
	小計	2,618	2,578	628	1,759	1,745	374	466	461	222
理工学部	物理学科	681	663	168	269	261	57	59	58	31
	生物学科	528	510	155	189	185	48	47	45	24
	機能分子化学科	596	580	222	225	221	56	49	49	28
	小計	1,805	1,753	545	683	667	161	155	152	83
経済学部	2,034	1,977	497	1,336	1,315	291	438	433	213	
法学部	1,526	1,489	421	1,161	1,148	434	318	317	204	
経営学部	1,945	1,898	323	1,182	1,169	197	653	644	244	
知能情報学部	848	826	221	624	612	84	150	148	76	
マネジメント創造学部	742	719	155	309	301	44	364	347	141	
フロンティアサイエンス学部	216	208	73	211	205	98	64	62	28	
合計	11,734	11,448	2,863	7,265	7,162	1,683	2,608	2,564	1,211	

### 大学院(修士課程)

課程	研究科・専攻	志願者数	受験者数	合格者数
人文科学	日本語日本文学専攻	1	1	0
	英語英米文学専攻	1	1	1
	応用社会学専攻	2	2	1
	人間科学専攻	2	2	2
	小計	6	6	4
自然科学	物理学専攻	15	14	9
	化学専攻	16	16	12
	生物学専攻	6	5	5
	知能情報学専攻	6	6	6
	小計	43	41	32
社会科学	経済学専攻	12	12	8
	経営学専攻	4	4	2
	小計	16	16	10
フロンティアサイエンス	生命化学専攻	14	14	12
合計		79	77	58

### 大学院(博士後期課程)

課程	研究科・専攻	志願者数	受験者数	合格者数
人文科学	日本語日本文学専攻	0	0	0
	英語英米文学専攻	1	1	1
	応用社会学専攻	1	1	1
	人間科学専攻	2	2	2
	小計	4	4	4
自然科学	物理学専攻	0	0	0
	生命・機能科学専攻	1	1	1
	知能情報学専攻	0	0	0
	小計	1	1	1
社会科学	経営学専攻	2	2	1
フロンティアサイエンス	生命化学専攻	3	3	3
合計		10	10	9

### 高等学校

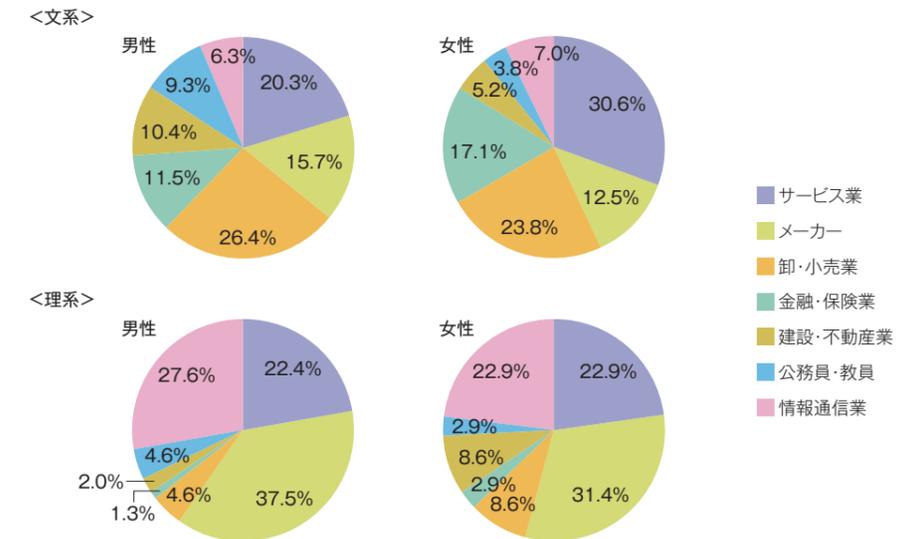
募集形態	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	競争率
アドバンスト・コース	41	41	32	29	1.28
一般・推薦入試併願(上記に含む)	(3)	(3)	(3)	(0)	

### 中学校

募集形態	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	競争率
I期午前入試	127	127	90	76	1.41
I期午後入試	253	246	120	18	2.05
II期入試	243	144	82	29	1.76
III期入試	168	89	45	31	1.98
甲南小学校	19	19	19	19	—
合計	810	625	356	173	—

## I 大学(学部学生)の就職状況

### 業種別就職状況



### 規模別就職状況

従業員数	文系			理系			全体		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
3,000名以上	30.4%	24.8%	27.8%	34.5%	38.2%	35.2%	31.1%	25.5%	28.6%
1,000名以上	24.5%	23.3%	23.9%	20.7%	8.8%	18.4%	23.9%	22.5%	23.3%
500名以上	15.5%	16.8%	16.1%	16.6%	20.6%	17.3%	15.7%	17.0%	16.2%
500名未満	29.6%	35.1%	32.2%	28.3%	32.4%	29.1%	29.4%	35.0%	31.8%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### 主な就職先

就職先	就職先
小林製薬株式会社	株式会社JTB
大塚製薬株式会社	株式会社オリエンタルランド
京セラ株式会社	日本航空株式会社
ソニー株式会社	楽天株式会社
住友電気工業株式会社	株式会社高島屋
凸版印刷株式会社	株式会社阪急阪神百貨店
株式会社デンソー	株式会社三井住友銀行
パナソニック株式会社	株式会社三菱UFJ銀行
マツダ株式会社	株式会社みずほ銀行
株式会社竹中工務店	三井住友信託銀行株式会社
株式会社大林組	日本生命保険相互会社
積水ハウス株式会社	東京海上日動火災保険株式会社
富士通株式会社	野村證券株式会社
西日本電信電話株式会社	兵庫県庁
丸紅株式会社	神戸市役所
三菱食品株式会社	東京高等裁判所
岩谷産業株式会社	東京出入国在留管理局
株式会社スズケン	大阪国税局
株式会社日本アクセス	兵庫県教育委員会

# Ⅲ 法人の概要

## Ⅰ学生・生徒数(令和元年5月1日現在)

### 大学

学部	入学定員	収容定員	実員
文学部	405	1,620	1,838
理工学部	155	620	675
経済学部	345	1,395	1,607
法学部	345	1,395	1,632
経営学部	345	1,380	1,624
知能情報学部	120	480	535
マネジメント創造学部	180	720	790
フロンティアサイエンス学部	45	150	172
合計	1,940	7,760	8,873

### 高等学校・中学校

学校	入学定員	収容定員	実員
高等学校	200	600	559
中学校	175	525	534

### 大学院

研究科	課程	入学定員	収容定員	実員	課程	入学定員	収容定員	実員
人文科学研究科	修士	26	52	21	博士後期	10	30	11
自然科学研究科	修士	35	70	69	博士後期	8	24	11
社会科学研究科	修士	20	40	11	博士後期	3	9	12
フロンティアサイエンス研究科	修士	10	20	21	博士後期	1	3	4
合計		91	182	122		22	66	38

### 専門職大学院

研究科	入学定員	収容定員	実員
法学研究科	20	60	59
合計	20	60	59

## Ⅱ卒業生累計数(令和2年3月31日現在)

旧制中学校・旧制高等学校	1,889
新制高等学校	12,251

学部	106,825
大学院(修士)	2,605
大学院(博士)	164 ※
専門職大学院	629

※うち49件は論文博士

## Ⅲ専任教職員数(令和元年5月1日現在)

### 大学・大学院・センター・研究所

	文学部	理工学部	経済学部	法学部	経営学部	知能情報学部	創造マネジメント学部	フロンティアサイエンス学部	法科大学院	国際言語文化センター	スポーツ・健康科学研究センター	共通教育センター	国際交流センター	教職教育センター	先端生命工科大学	学生相談室	学長直属	合計
教授	43	26	17	17	21	11	8	9	11	8	5	5	0	0	1	0	0	182
准教授	5	8	5	6	1	8	10	4	2	5	2	2	0	1	1	0	0	60
講師	2	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	2	0	0	9
助教	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
特任等	3	1	4	1	2	0	7	0	0	6	0	3	2	0	0	1	2	32
合計	53	36	26	25	25	19	25	14	13	20	7	11	2	1	5	1	2	285

※実務家教員を含む。

### 高等学校・中学校

校長	教諭	契約	養護教諭	司書教諭	合計
1	53	4	1	1	60

### 職員

専任	嘱託	その他	合計
162	40	41	243

## Ⅳ事務組織図(令和2年3月31日現在)

学	経営企画室	
	スポーツ強化支援室	
	総務部	総務課 人事課
	財務部	
	管財部	
	情報システム室	
	広報部	広報課 甲友課
	学園振興募金室	
	ネットワークキャンパス東京事務所	
	監査部	
大	学長室	
	教務部	
	学生部	
	キャリアセンター	
	図書館事務室	
	アドミッションセンター	
	教育学習支援センター事務室	
	法科大学院事務室	
	文学部事務室	
	理工学部・知能情報学部事務室	
	経済・法・経営学部合同事務室	
	西宮キャンパス事務室	
	ポートアイランドキャンパス事務室	
	国際言語文化センター事務室	
	スポーツ・健康科学教育研究センター事務室	
	共通教育センター事務室	
	国際交流センター事務室	
教職教育センター事務室		
公認心理師養成センター事務室		
カウンセリングセンター・人間科学研究所事務室		
フロンティア研究推進機構事務室		
地域連携センター事務室		
高等学校・中学校	高等学校・中学校事務室	